

## 2023年2月ブログ集

### 目次

2月1日	モモの剪定とブドウの仮剪定.....	3
2月2日	3C3CA Equatorial Guinea.....	4
2月3日	D2UY Angola 80m, J69DS Saint Lucia 10m.....	5
2月4日	7X2RF Algeria 30m, PJ2MAN Curacao12m.....	7
2月5日	9U5R, 9U4DX Burundi & 3X1A Guinea.....	8
2月6日	430MHz 帯用 LPF の製作.....	10
2月7日	3Y0J Bouvetoya QRV 開始.....	13
2月8日	MAP65 でやっと受信できた.....	15
2月9日	悩ましい DX ペディション 3Y0J.....	16
2月10日	混乱が続く 3Y0J の運用.....	17
2月11日	やっと出来たよ！ 3Y0J オマケもあったよ！.....	20
2月12日	ダミーロードの周波数特性.....	21
2月13日	CSV ファイルから HTML ファイルに変換.....	25
2月14日	J8/AJ4YX Saint Vincent.....	28
2月15日	VP8AWU Falkland 12m, HR1R Honduras 10m などなど.....	29
2月16日	2m用 BPF の製作.....	30
2月17日	e-Tax で確定申告.....	33
2月18日	今朝は5つのバンドニューをゲット.....	35
2月19日	10mバンドは大賑わい.....	39
2月20日	ブドウの剪定を開始したけど・・・.....	40
2月21日	KP2B US Virgin Is. 12m & NA2AA CEO of ARRL 10m.....	41
2月22日	ZC4GR UK bases on Cypress 10m, FT8WW Crozet 10m.....	42
2月23日	MAP65 で EME.....	45
2月24日	やっところさの 9U4WX Burundi 10m.....	46

2月25日	ブドウの剪定作業完了.....	48
2月26日	草刈用に登山靴.....	50
2月27日	モモの摘蕾・ブドウの剪定屑の片づけ.....	50
2月28日	3B7M Saint Brandon Is. & 地磁気嵐.....	51

## 2月1日 モモの剪定とブドウの仮剪定

寒い寒いと言ってウチの中に籠ってばかりは居られません。今週からは少し暖くなるという予報なのですが、今日も日差しが弱くて寒い一日でした。今週末には立春を迎えます。毎年、立春を過ぎた頃からブドウの剪定を開始しています。その剪定に先立って、例年は12月か1月に仮剪定をしておくのですが、今年は怪我のために仮剪定が未だ出来ていませんでした。先週末に、やっと肥料を撒き終わったので、今日からブドウの仮剪定を開始しました。



モモは趣味として作っているのですが、剪定は不可欠です。2月の中旬ごろから3月にかけて「摘蕾」作業をしますが、その前に枝の数を減らしておかないと大変なことになります。私はモモの樹を小さく作っているので、剪定する時にも脚立などは必要ありません。そういうこともあって、割りと簡単に剪定できました。



## 2月2日 3C3CA Equatorial Guinea

寒い日が続いていたので、久しぶりに早起きして無線小屋に来ました。今頃の6時半は少し明るくて懐中電灯は要りませんでした。

DXscapeには7P8WWが3565kHzに出ているという書き込みがありました。7P8は80mではコンファーム済みです。狙いはD2UYです。(でした。) 3573kHzをワッチしていると、DU2UYや3C3CAを呼ぶJA局が多数見られましたが、私には見えませんでしたので、暫くワッチしていました。ワッチしている間に、3Y0Jの電波伝播について調べたり、運用場所について調べたりしていました。順調に進めば2~3日後にはオンエア開始となりそうです。

3Y0Jの調査に夢中になっていたところ、突如3C3CAが見え始めたので、コールを開始しました。呼んでいる局も多いので、中々コールバックはないだろうなあ・・・と思っていたら、意外にも早くコールバックがあったのでびっくりしました。その瞬間に弱いながらもD2UYもデコードできました。レポートを送るのですが、73が中々帰ってこなかった。3回目には送信周波数を変えてみたところ73が返ってきました。ダブルバズーカに500Wという非力な電波のため、被せて呼ばれると潰されてしまうので、送信周波数を変えて返信したのが功を奏したようです。

The screenshot shows the DXscape software interface. The main window displays a log of received and transmitted signals. The current frequency is 3.573 MHz (3573 kHz) on the 80m band. The time is 22:05:50 UTC. The log shows several signals from 3C3CA, including a QSO with JH4ADK RR73 at 22:05:30. The interface includes various control panels for frequency, power, and message handling.

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
220315	-5	-0.0	1438	~ 3C3CA JH4EVN PM75	
220330	-11	-0.0	2010	~ CQ R7CD KN94	
220330	-8	0.0	1389	~ JK3GHE 3C3CA R-10	
220330	-10	-0.0	1015	~ CQ YC6HSK NJ92	
220330	-17	-0.1	2081	~ R5AT RA0AER -15	
220400	-12	0.0	1015	~ CQ YC6HSK NJ92	
220400	-11	-0.0	2010	~ CQ R7CD KN94	
220400	-15	0.0	545	~ CQ SV2GJV KN10	
220400	-15	-0.1	2081	~ R5AT RA0AER -15	
220400	-10	0.0	1389	~ JH4ADK 3C3CA R-09	
220400	-17	0.5	575	~ CQ D2UY JI64	
220430	-6	0.0	1389	~ JH4ADK 3C3CA R-09	
220430	-15	-0.0	2010	~ CQ R7CD KN94	
220430	-14	-0.0	1016	~ CQ YC6HSK NJ92	
220430	-14	-0.1	2081	~ R5AT RA0AER -15	
220430	-20	0.5	575	~ CQ D2UY JI64	
220500	-16	-0.0	2010	~ EA5BF R7CD -12	
220500	-13	0.0	1015	~ CQ YC6HSK NJ92	
220500	-9	0.0	1389	~ JH4ADK 3C3CA R-09	
220500	-19	0.0	545	~ LB0TH SV2GJV -15	
220500	-14	0.0	945	~ VK6IR OK4YL JN99	
220530	-8	-0.0	1389	~ JH4ADK 3C3CA 73	
220530	-17	-0.0	2010	~ EA5BF R7CD RR73	
220530	-15	-0.0	1016	~ CQ YC6HSK NJ92	
220530	-13	0.0	945	~ VK6IR OK4YL JN99	

3Cというのは珍の部類ですが、最近 TA20M Ersoy がアクティブに QRV していますので、ハイバンドで幾つかのバンドニューをプレゼントしてもらいました。80m でもバンドニューです。貴重なローバンドでのバンドニューをありがとう！3C3CA の運用がいつまで続くのか不明ですが、アクティブなうちに 12m でも是非 QSO しておきたいものです。

## 2月3日 D2UY Angola 80m, J69DS Saint Lucia 10m

昨日に続き、今朝も少し早起きしました。あまり早すぎても暗くて寒いだけなので、日の出の少し前位の時間を狙いました。6時50分頃にワッチを開始しましたが、この時 3573kHz では大勢の JA 局が D2UY を呼んでいました。私には何も見えない状態でした。

昨日 D2UY が見えたのは 2204Z でしたが、今日は 7 時前からデコードできるようになりました。しかし、CQ を連発するのみで JA 局に応答がありません。ひょっとしたら席を離れているのかもしれませんが。などと思いながら、空いている周波数を探していました。被りあうのを避けているのか、空いていると置いていたら次のピリオドでは誰かがでていたりして、D2UY の信号は強くなるのに呼ぶ周波数が定まりません。他の誰よりも電力では劣っていることを自覚しているので、被るような周波数で呼んでも無駄というものです。暫くワッチしていると、皆さんオンフレは避けているようなので、一度オンフレで呼んでみることにしました。

すると、直ぐにコールバックがあり、これには驚きました。正にサプライズです。一旦 HaltTX にしていたので、慌てて RR73 を送信しました。次回の RR73 は別の周波数で送信する準備をしていましたが、73 が返ってきたので QSO 成立となり 80m でバンドニューをゲットできました。大勢の JA 局を差し置いて QSO できて申し訳ないような気もしますが、ごちそうさまでした。

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

念願の80mでのターゲットを獲得できたので、10mにQSYしました。DXscapeにJ69DSが28074kHzにQRVしているという書き込みがありました。QSY直後には何も見えませんでした。3Y0Jの記事を探しながらワッチを続けていると、J69DSがUSAの局とQSOしているのが見えたのでコールを開始しました。彼の信号は、ピークで-16dBと弱くてQSBもあったので、見えたり見えなかったりです。彼もCQを出していたので、暫く呼んでいるとコールバックがありました。J69DS Fransには15/12mでもバンドニューをプレゼントして貰っていますが、10mでもQSO出来てバンドニューをゲットです。

My last 10 QSO								
CALL	DX	DXCC	DATE	BAND	MODE	RSTr	RSTs	
J69DS	JM1HXU		2023-02-02 22:35	10m	FT8	-12	+02	
J69DS	JA1OQJ		2023-02-02 22:34	10m	FT8	-12	-12	
J69DS	JA0ELB		2023-02-02 22:32	10m	FT8	-09	-06	
J69DS	JF1FAO		2023-02-02 22:30	10m	FT8	-11	-15	
J69DS	JA7ZF		2023-02-02 22:29	10m	FT8	-16	-06	
J69DS	JH4ADK		2023-02-02 22:27	10m	FT8	-16	-17	
J69DS	K4PYA		2023-02-02 22:26	10m	FT8	+09	+06	
J69DS	JI3VUB		2023-02-02 22:25	10m	FT8	-07	-08	
J69DS	K4AWM		2023-02-02 22:23	10m	FT8	+14	+05	
J69DS	N7SCG		2023-02-02 22:21	10m	FT8	-17	-18	

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=0.00 Lag=+0.00 and Activi

222830 -9 -0.1 788 ~ KC3Y JA3ALY -12  
 222830 -13 -0.1 1464 ~ CQ WZ8DX EM79  
 222830 -13 -0.1 1579 ~ WA4RHK JA1SJV 73  
 222830 -16 0.1 2742 ~ KD6FOZ JE2KDN PM84  
 222830 -9 -0.1 613 ~ AF5IU JA2KVD PM84  
 222830 -18 0.2 2847 ~ HH2AA JF1FAO +11  
 222830 -12 0.0 2018 ~ JH7IMX KA9JCP R+02  
 222830 -11 0.0 1243 ~ PY3JRT W7WET R+05  
 222830 -15 0.0 575 ~ CQ KG5TA FM19  
 222830 -13 -0.1 2309 ~ AD5IT JR3NZC R-18  
 222830 -9 -0.2 2516 ~ JA3APV WAONTM CN87  
 222830 -9 0.0 1312 ~ ZL3TE NX0R EM08  
 222830 -22 0.3 653 ~ K4ELI KL7BG RR73  
 222830 -3 0.0 1130 ~ CQ N5LZB CN87  
 222830 -20 0.0 2085 ~ HH2AA JP1LRT PM95  
 222830 -8 -0.2 1062 ~ KG6JDX NS6W DM04  
 222830 -14 -0.1 2646 ~ WM8Q JA0FVU -09  
 222830 -11 -0.4 885 ~ PY5JO N4YSA FM08  
 222830 -12 0.2 1198 ~ HH2AA JL1ELQ PM96  
 222830 -12 0.1 1598 ~ W9RN <...> -09  
 222830 -19 -0.0 946 ~ KG6JDX W1WSF EM65  
 222830 -18 0.1 1295 ~ CQ W5OG EM22  
 222830 -18 -0.1 2358 ~ HH2AA JA2XCR -04  
 222830 -22 0.1 1102 ~ JH4ADK J69DS 73  
 222830 -19 -0.1 1553 ~ JH9DRL W7UDH -03  
 222830 -16 0.2 1099 ~ KK7HLH W8KS R-08  
 222830 -13 0.1 1063 ~ KG6JDX N7FN DM33  
 222830 -19 -0.1 428 ~ PJ4LL JA0DAI -07  
 222830 -16 -0.0 417 ~ JE2LPC W8UVV 73

28.074 000 22:28:57 TX 15/45 Pwr

10m Spt Menu Tx FT8 Report -16 S meter

DX Call DX Grid Tx 675 Hz Reserved Hound

J69DS FK94

Az: 18 14328 km Tx/Rx Split AutoTX

Lookup Add Rx 1102 Hz Wanted AutoSeq

UTC dB DT Freq Message Rx Frequency

222630 -17 0.1 1104 ~ CQ J69DS FK94

222648 Tx 675 ~ J69DS JH4ADK -18

222700 -16 0.2 1099 ~ NO7BS W8KS R+04

222730 -15 0.2 1099 ~ NO7BS W8KS 73

222730 -16 0.1 1104 ~ K4PYA J69DS RR73

222745 Tx 675 ~ J69DS JH4ADK -16

222800 -20 0.1 1104 ~ JH4ADK J69DS R-17

222815 Tx 675 ~ J69DS JH4ADK RR73

222800 -15 0.1 1098 ~ KK7HLH W8KS EN63

222830 -22 0.1 1102 ~ JH4ADK J69DS 73

222830 -16 0.2 1099 ~ KK7HLH W8KS R-08

GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1

J69DS JH4ADK PM64 Tx 1

J69DS JH4ADK -16 Tx 2

J69DS JH4ADK R-16 Tx 3

J69DS JH4ADK RR73 Tx 4

J69DS JH4ADK 73 Tx 5

CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

Enable Tx Halt Tx Log QSO Erase Hint W/L mode AGCc Filter Decode Clear DX

Receiving FT8 Last Tx: J69DS JH4ADK RR73 WD 6m 12/15 Logd D2UY 02.02.2023 FT8 7406

## 2月4日 7X2RF Algeria 30m, PJ2MAN Curacao12m

今朝も早朝から無線小屋で遊びました。7X2RF Algeria が 30m に出ているということで、アンテナを北西に向けてコールし始めましたが中々コールバックがありません。他の EU 局から呼ばれたりするので、それに応答している時間が過ぎていきました。それでも未だデコードできていたので、辛坊強く呼んでいると漸くコールバックがありました。30m バンドではバンドニューです。QRZ.com を見ると、サフィックスから想像できるように RF エンジニアとの記述があり、棚には測定器らしきものが一杯並んでいました。残念ながら、LoTW ではコンファームできそうにありません。

15m や 10m で PJ2MAN のコールサインを良く見かけます。17m ではバンドニューをプレゼントして貰いましたが、やっと 12m で見つけました。何度かコールして首尾よくバンドニューをゲットできました。

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=0.12 Lag=+0ms Active **24.915 000** **22:05:19** TX 15/45 Pwr

220500 -11 0.0 316 ~ FS/VA32C N3EEN -03  
 220500 -10 0.0 813 ~ KP3AV JA0DIN PM96  
 220500 -5 0.1 1082 ~ CQ N4QV EL96  
 220500 -10 -0.0 1847 ~ FS/VA32C WB3GTM FN34  
 220500 -12 0.1 2040 ~ CQ DX N7UG CN87  
 220500 -8 -0.0 1425 ~ KP3AV JP1HDK PM95  
 220500 -8 0.1 1990 ~ CQ N0JVV EM28  
 220500 -12 0.4 2209 ~ CQ KC3UTT FM29  
 220500 -8 0.1 2606 ~ NS3F JE2EHP -12  
 220500 -13 0.2 2153 ~ K4IJQ AC2AC EL96  
 220500 -9 0.0 849 ~ JJ8DEN N5YYF 73  
 220500 -12 1.0 2464 ~ W6VRF W5MCO R+05  
 220500 -9 0.0 408 ~ WD8EOL CX1RL -15  
 220500 -8 -0.0 1067 ~ VE3LRL JA1XPQ -15  
 220500 -10 -0.0 554 ~ CQ DX NC7I DN40  
 220500 -9 0.1 950 ~ CQ W9WGN EN50  
 220500 -8 -0.0 772 ~ <...> W8OP EM99  
 220500 -16 0.3 1726 ~ CQ ASIA K8MCB EN80  
 220500 -14 0.0 729 ~ NS3F VE3EAC FN14  
 220500 -8 0.2 368 ~ FS/VA32C N9EP EN52  
 220500 -10 0.1 1334 ~ FS/VA32C K0SRL EN41  
 220500 -14 0.1 1709 ~ CQ AB9QT EN55  
 220500 -14 0.0 935 ~ <...> K2PS +05  
 220500 -9 0.5 678 ~ KD0WQC KZ6T 73  
 220500 -18 -0.1 1769 ~ JE2FUP AE5YG EM34  
 220500 -11 -0.0 1318 ~ KP3AV JF1RDH PM95  
 220500 -12 -0.0 2152 ~ NU3A JA0ELB RR73  
 220500 -13 0.1 543 ~ FS/VA32C AJ4HW EM75  
 220500 -8 0.1 2642 ~ JA1RBY WA0KXO -08  
 220500 -14 -0.0 2079 ~ JS1AYX VA7VX CN89  
 220500 -19 0.5 2015 ~ CQ PY4OY GG78  
 220500 -16 0.3 1291 ~ JE2FUP NS9I R-08  
 220500 -13 0.1 2626 ~ KR5J JH8SIT -12  
 220500 -16 0.0 1459 ~ K1LJL WA7RCT 73  
 220500 -15 0.1 2028 ~ FS/VA32C KM5AT EM60

12m Spt Menu Tx FT8 ~ Report -12 S meter  
 DX Call DX Grid Tx 657 Hz Reserved Hound  
 PJ2MAN FK52 Tx/Rx Split AutoTX  
 Az: 28 14246 km Rx 2108 Hz Wanted AutoSeq

UTC dB DT Freq Message Rx Frequency  
 220100 -9 0.0 2106 ~ AE0NR PJ2MAN +00  
 220130 -8 0.0 2107 ~ AE0NR PJ2MAN RR73  
 220200 -7 0.0 2107 ~ N4MNW PJ2MAN -07  
 220215 -12 -0.0 2106 ~ PJ2MAN JA0CVC PM96  
 220230 -8 0.0 2107 ~ K7MAC PJ2MAN R+03  
 220300 -10 0.0 2107 ~ K7MAC PJ2MAN 73  
 220315 Tx 737 ~ PJ2MAN JH4ADK -10  
 220330 -6 0.0 2107 ~ JL3MCM PJ2MAN -07  
 220345 Tx 737 ~ PJ2MAN JH4ADK -10  
 220400 -12 0.0 2108 ~ JL3MCM PJ2MAN RR73  
 220415 Tx 657 ~ PJ2MAN JH4ADK -12  
 220430 -10 0.0 2107 ~ JH4ADK PJ2MAN R-08  
 220445 Tx 657 ~ PJ2MAN JH4ADK RR73  
 220500 -11 0.0 2108 ~ JH4ADK PJ2MAN 73

Enable Tx Halt Tx GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1  
 Log QSO Erase PJ2MAN JH4ADK PM64 Tx 1  
 Hint W/L mode PJ2MAN JH4ADK -12 Tx 2  
 PJ2MAN JH4ADK R-12 Tx 3  
 PJ2MAN JH4ADK RR73 Tx 4  
 PJ2MAN JH4ADK 73 Tx 5  
 CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

AGCc Filter  
 Decode Clear DX

Receiving FT8 Last Tx: PJ2MAN JH4ADK RR73 WD 5m 4/15 Logd EW7BU 03.02.2023 FT8 7414

## 2月5日 9U5R, 9U4DX Burundi & 3X1A Guinea

今朝6時半頃、無線小屋に行ってDXscapeを見ると、9U4WXが7065kHzに出ているとの情報があったので、ダイヤルを合わせてワッチしましたが、何もデコードできな状態でした。

3Y0Jは未だQRVしていないようですし、QRZ.comの9U4WXのページを見てみると、彼はチェコ人でイタリア人の友人(9U5R)と一緒にブルンジでDXペディションをやっているらしいことが分かりました。リグはK4と7300で100W出力とのことなので、道理で信号が弱い筈です。暫くしていると、10131kHzに9U5RがQRVしているということでQSYすると、こちらはデコードできたので早速コール開始しました。9U5Rは明らかにMSHVだと分かりましたので、上で呼んだり下で呼んだりしていましたが、オンフレが空いていたのでオンフレで呼ぶと直ぐに応答がありました。デジタルモード(FT8)では初

ブルンジです。

The screenshot shows the WSJT-X software interface. The top status bar displays the frequency 10.131000 MHz and the time 22:05:21. The main window is divided into several sections: a log table on the left, a control panel on the right, and a message window at the bottom right. The log table shows a list of QSOs with columns for UTC, dB, DT, Freq, and Message. The control panel includes buttons for 'Tx/Rx Split', 'AutoTX', and 'AutoSeq'. The message window shows a list of messages, including '9U5R JH4ADK RR73'.

暫くしていると、3X1A Guineaが7070kHzでQRVしているというので、QSYしてみるとちゃんとデコードできたので、コールを開始しました。3Xは他のモードでコンファーム出来ているのでモードメニューではありませんが、FT8でQSOするのは初です。F/Hモードでしたので、モードを合わせて良くワッチしながら呼ぶ周波数を色々変えて暫く呼んでいるとコールバックがあり、QSOできました。

The screenshot shows the WSJT-X software interface. The top status bar displays the frequency 7.070000 MHz and the time 22:17:52. The main window is divided into several sections: a log table on the left, a control panel on the right, and a message window at the bottom right. The log table shows a list of QSOs with columns for UTC, dB, DT, Freq, and Message. The control panel includes buttons for 'Tx/Rx Split', 'AutoTX', and 'AutoSeq'. The message window shows a list of messages, including '3X1A JH4ADK R-15'.

今朝は朝飯前に無線小屋に来たので、そろそろ朝食にしようかと思いましたが、その前にもう一度 7065kHz をチェックすると、今度はちゃんとデコードできました。日の出を少し過ぎてコンディションが上がってきたのでしょうか。これはチャンス！とばかりにコールを開始しました。MSVH のようです。上や下でも呼びましたが、オンフレでも呼んでみたところコールバックがありました。

✦ JTDx by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
222345	-1	0.0	1635	~ 9U4WX JH2DUC PM94	
222345	2	0.1	2110	~ 9U4WX JA3XNH -20	
222345	-1	0.0	1268	~ 9U4WX JA1WSX -15	
222345	-5	-0.0	1724	~ 9U4WX JE2LPC -19	
222345	1	0.0	2193	~ 9U4WX JF0CSK -15	
222345	3	0.0	2485	~ 9U4WX JA5AUC PM63	
222345	1	0.1	1465	~ 9U4WX RW0LT -14	
222345	1	0.2	2538	~ 9U4WX JH6QOK PM51	
222345	-5	0.1	1668	~ 9U4WX JG1SYK PM95	
222345	-1	0.3	1303	~ 9U4WX 7L1CDK PM96	
222345	-4	-0.0	2751	~ 9U4WX JA8XQI -16	
222345	-3	0.0	1509	~ 9U4WX JH1HFE PM96	
222345	-10	0.2	1201	~ 9U4WX JF2RJP PM85	
222345	-3	-0.0	2679	~ 9U4WX JA7NGE QM08	
222345	-10	0.7	1208	~ 9U4WX JA1TOU PM95	
222345	-14	0.0	1581	~ 9U4WX JE1CAC QM06	
222345	-6	-0.0	1706	~ 9U4WX JP3IGU -15	
222345	-8	0.1	2404	~ 9U4WX IZ7GIT -12	
----- 04.02.23 22:24:14 UTC ----- 40					
222400	-16	0.2	1050	~ JA5AQC 9U4WX R+00	
222400	-17	0.2	1109	~ JR3NZC 9U4WX -02	
222400	-20	0.2	991	~ JF0CSK 9U4WX R-01	
----- 04.02.23 22:24:44 UTC ----- 40					
222430	-18	0.2	990	~ JF0CSK 9U4WX R-06	
222430	-17	0.2	1050	~ JA5AQC 9U4WX RR73	
222430	-19	0.2	1110	~ JR3NZC 9U4WX RR73	
----- 04.02.23 22:25:14 UTC ----- 40					
222500	-18	0.2	1109	~ JH4ADK 9U4WX R-02	
222500	-18	0.2	990	~ JF0CSK 9U4WX R-06	
222500	-18	0.2	1050	~ JA2ADH 9U4WX +00	
----- 04.02.23 22:25:44 UTC ----- 40					
222530	-13	0.2	1050	~ JA2ADH 9U4WX +00	
222530	-14	0.2	1110	~ JH4ADK 9U4WX RR73	
222530	-13	0.2	990	~ JF0CSK 9U4WX R-04	

結局今朝の運用ではバンドニューはゼロでしたが、9U4WX と 9U5R は今日から運用を開始したようですので、暫く楽しませてもらえそうです。15/12/10m ではバンドニューなので、是非ともこれらのバンドで QSO したいものです。

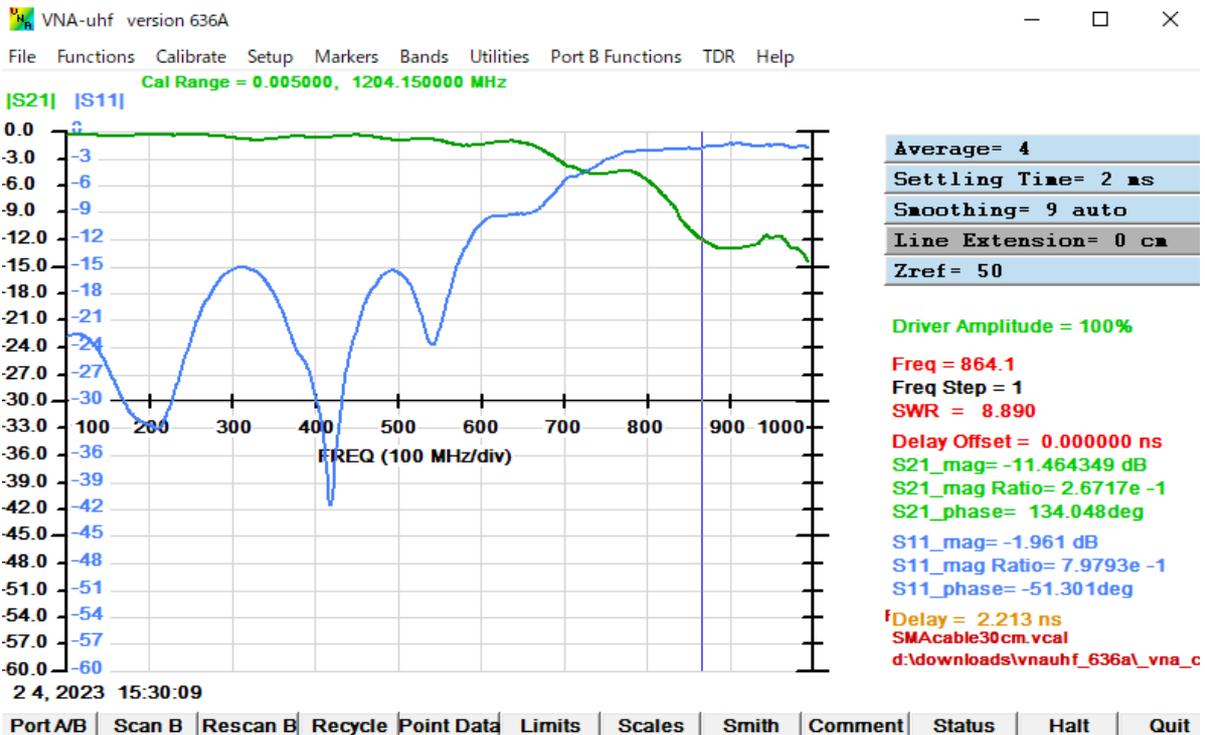
## 2月6日 430MHz 帯用 LPF の製作

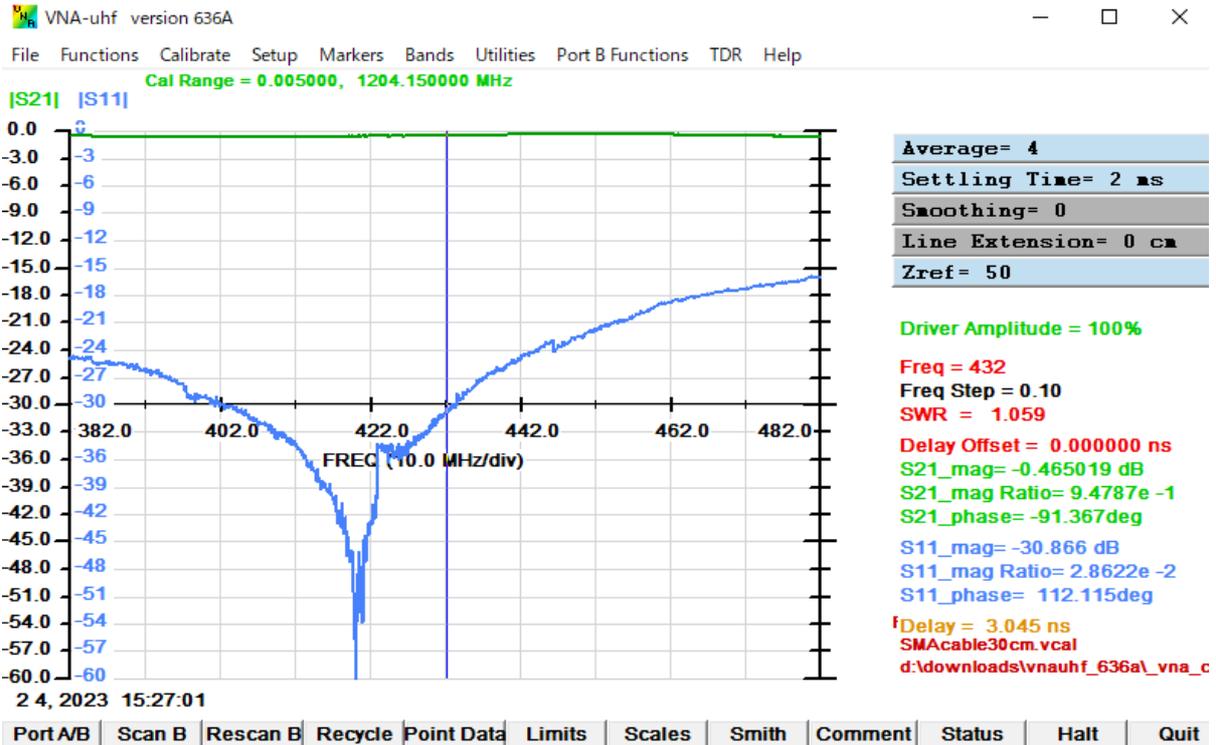
1月14日のブログで紹介している 430MHz 帯用 LPF は試作レベルでしたが、これをリニアアンプの出力に接続できるように耐電力を少しでも高めようという試みです。ちゃんとしたケースに入れることを考えた時、ヤフオクでゲットした妨害波除去濾波器のケースを流用することを思いつきました。基板だけ自作すれば、板金やコネクタは流用できます。

ちょっと基板の寸法が小さかったので、コンデンサとしての銅箔部は細長い形になりました。因みにコイルは1.6mmIV線の導体部（銅線）を42mmの長さにカットしてφ5.0のアルミ棒に2回巻いて長さ6.5mmにしたものです。



3次チエビシェフ型LPFのディップ周波数をもう少し上に移動させたくて、銅箔によるコンデンサをカットしていきました。

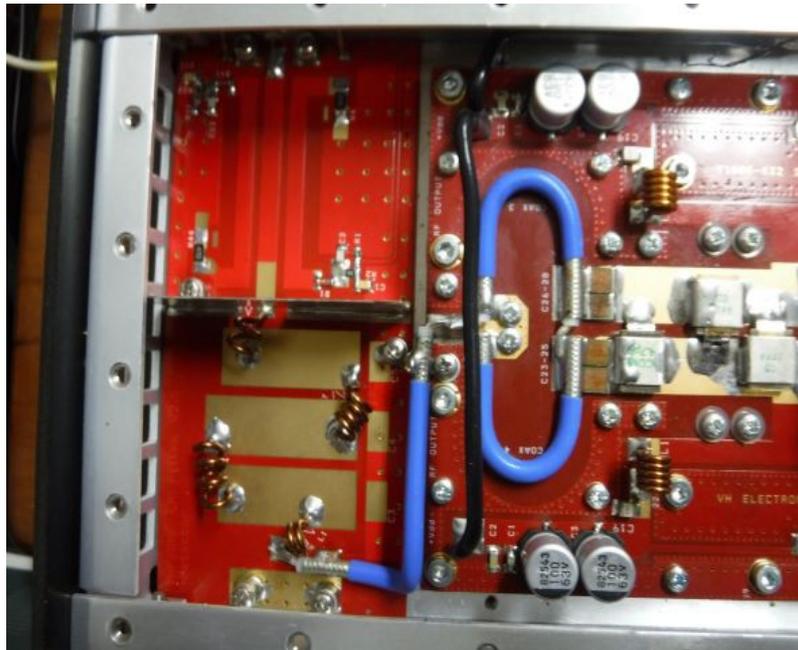




しかし、なかなかディップ周波数は上に移動しませんでした。リターンロスは小さくなりました。半面、挿入損失は大きくなってしまいました。後で、QucsStudio を用いてシミュレーションしてみたところ、コンデンサの容量を小さくすると、ディップ周波数は下がることがわかりました。もう一度作り直そうと思っていますが、とりあえず、このままの状態ですプリアス除去の効果を確認することにしました。

しかし、挿入損失が 0.46dB というのは大きいような気がします。500W は 56.99dBm ですので、-0.46dB の損失があれば 56.53dBm=449.78W になります。となると約 50W が熱になるということです。本当にこんなコイルとコンデンサで良いのかしらと心配になりました。

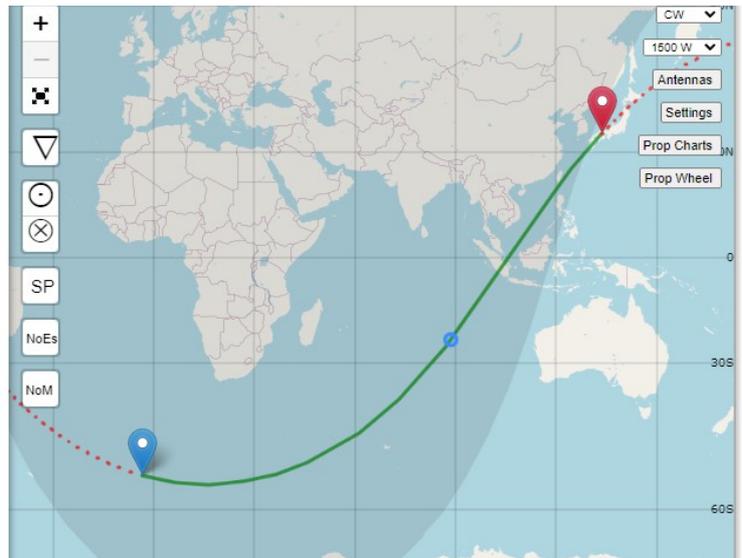
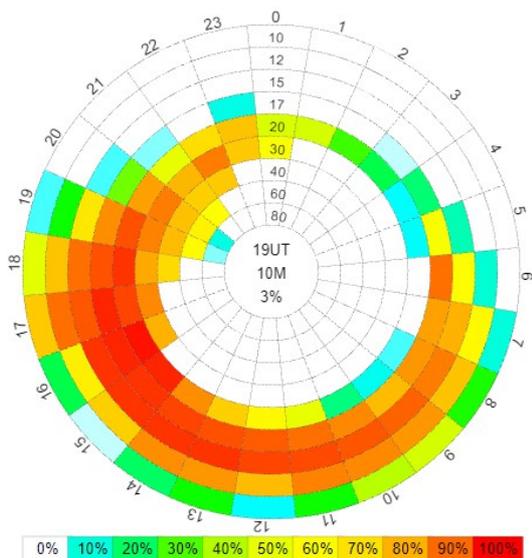
そこで、プロはどんな仕事をしているのだろうか？と思って、TAJFUN の蓋を開けて内蔵されている LPF の様子を確認することにしました。コイルの線材は φ1.5mm で直径は 5 ~ 6mm で、私が製作したものと似たようなものです。これを見て一安心しました。



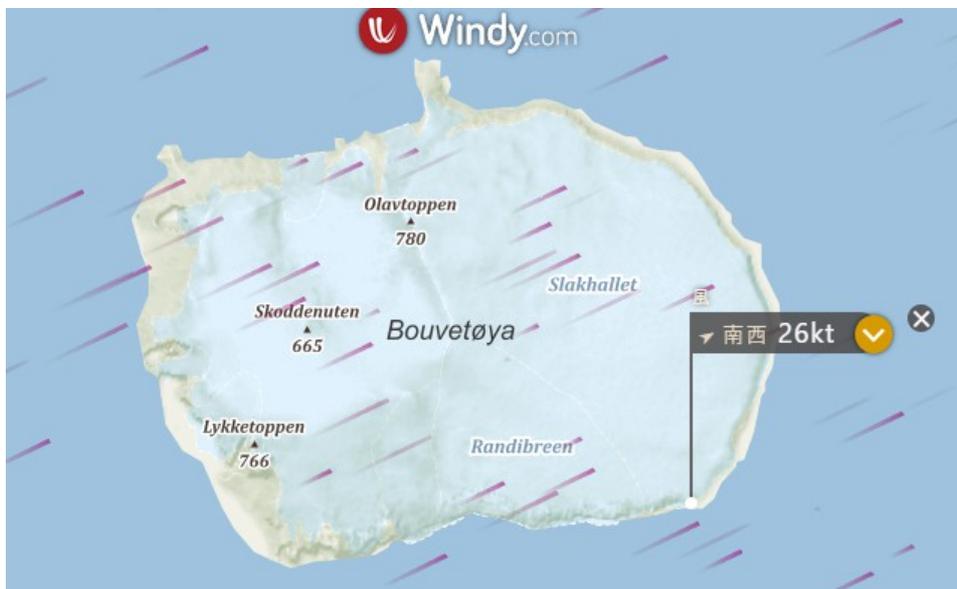
TAJFUN 内蔵の LPF は、写真からわかるように、L が 4 つに C が 3 つからなる 7 次のフィルターです。コイルの形がいびつなのは、線間の長さを弄って調整したものと思われる。

## 2月7日 3Y0J Bouvetoya QRV 開始

今朝無線小屋に来て DXscape を見ると、3Y0J が THE TOP 10 の 1 位にランキングされていました。DXlite で 3Y0J を検索すると、10115kHz(CW)に出ているとのことなので早速ワッチを開始しました。しかし、オンフレでは Up とかジャミングは聞こえるのですが、呼ぶ気になるような信号は聞こえませんでした。上の方では EU や SA などの局が沢山呼んでいました。何処の周波数でピックアップされているのか確認できるような状態ではなかったもので、暫く聴いていましたが、今日から QRV し始めたということを確認したのみです。DXnews.com によると、最初は 100W にワイヤアンテナという事らしいので、信号が弱いのは仕方ありません。その内に強い信号が聞こえるのを待った方が良さそうです。



電波伝播について VOACAP で調べてみました。30mバンドでは22時 UTC に通信確率が高くなっています。全般的に、20m以上のハイバンドでは、日本時間の午後3時以降から真夜中、未明にかけて通信確率が高くなっています。10mでは厳しそうです。取りあえず何処かのバンドで QSO したいものですが、オンラインログが用意されていないようなので、CWなどで QSO する場合、コールバックがはっきり聞こえる状態でないと呼ぶ気になれません。Starlinkの端末も持参されているようなので、その内にオンラインログが立ち上げられるかもしれません。



Windy.comによると、現在の Bouvetøya, Kapp Fie の風速は 26kt $\approx$ 13m/s です。この地でこの風速は弱い方みたいですので、順調にキャンプやアンテナ設営などが進むことを願って見守るばかりです。

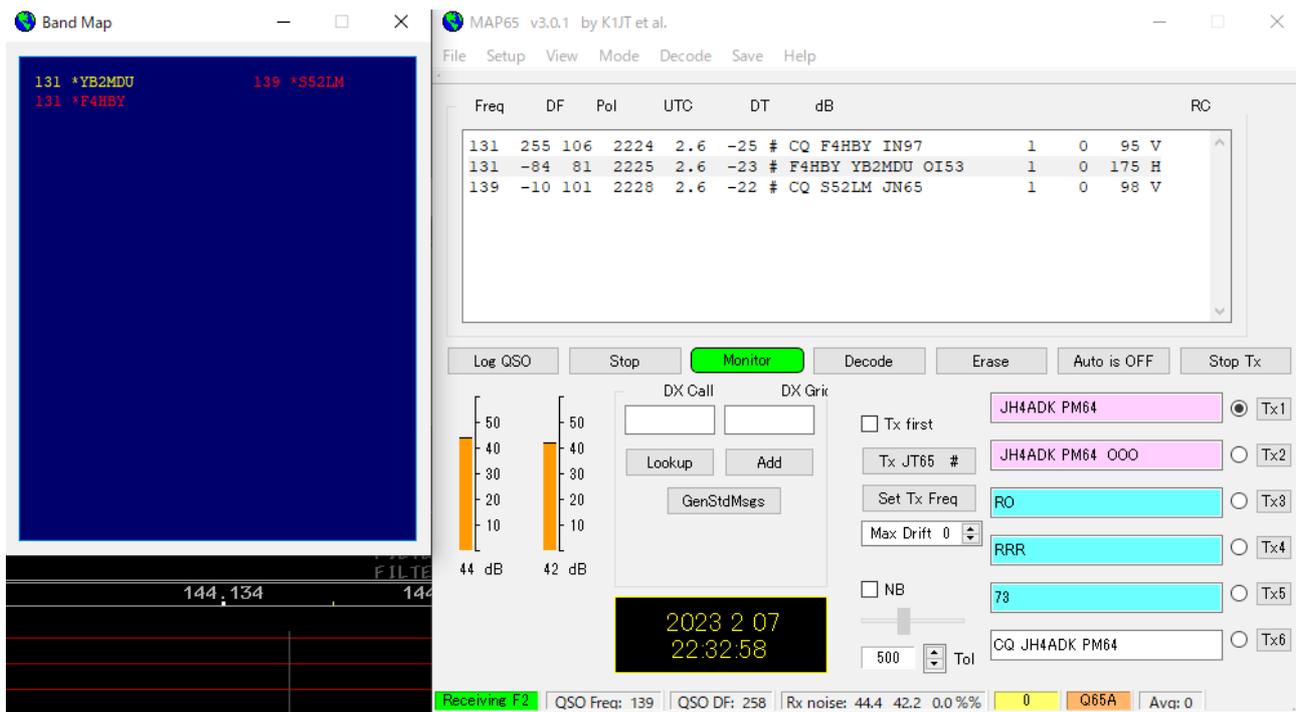
## 2月8日 MAP65 でやっと受信できた

小笠原に EME の DX ペディションに行っている JD1YCC Team が 2mEME にでるので、今朝は早起きしました。JD1YCC と QSO したいというよりも、JD1 と QSO したくて出てくる大勢の EMEer の信号を受信するのが主な目的です。こういうイベントでもないと、コンディションが良い時でも出てくる局が少なくて、MAP65 の調整をするのさえ事欠くのです。

以前試みた無線機 2 台と SDR とを併用する方法は共倒れになってしまうようなので、今朝は、SDR だけで受信することにしました。最初は、無線小屋内に SDR(AFE822xSDR-VHFx2) を置いてやっていたのですが、何の影響なのか Vpol と Hpol の信号レベルが違っていましたし、Hpol よりも重要な Vpol の感度が低いというのは問題があり、全くデコードできませんでした。

明るくなってもお月様は未だ見えていたので、アンテナ直下の犬小屋に SDR を置いて、LNA から 3m 程の RG-58A ケーブルで Vpol/Hpol の信号を接続するように接続し直しました。

JD1YCC は CQ を出さなくなったようですが、N0UK チャットを見ていると多くの局がオンエアしているようでした。暫くワッチしていると、F4HBY の CQ が BandMap ウィンドウに見えました。周波数を 144.131MHz に合わせてワッチしていると、ちゃんとデコードできました。次のピリオドには YB2MDU が応答しているのもデコードできました。13 エレ 2 スタックのアンテナですが、-22dB~-25dB の信号で受信できているので、そこそこの受信性能です。しかも、V-pol と H-Pol のアンテナを接続しているので、位相差も表示されます。(ちゃんと調整していないので、合っているかどうかは別ですけど・・・)



この構成の場合、SDR だけで受信していてトランシーバでは受信できないので、送信する場合の訓練が必要です。従来は WSJT-X を使い、トランシーバに PC から USB 接続したオーディオ信号で送受信していましたが、MAP65 の画面だけで送信も行う必要があります。送信周波数を CAT で制御する方法は提供されていないようなので、トランシーバのダイヤルを回して周波数を調整することにします。PTT は COM ポートで制御できるようですし、オーディオ信号のポートも選択できるようですので、ちゃんと設定して練習しておきたいと思います。

## 2月9日 悩ましいDXペディション 3Y0J

ブーベ島からのDXペディションの運用が始まってから今日で3日目になります。昨朝は良く聞こえた10.115MHzCWも今朝は殆ど聞こえませんでした。これほどコンディションの日差があるんだと思うと、いつになったらQSOのチャンスが巡ってくるのかと心配になります。

DXnews.comを見ると、次のように書かれています。

# 3Y0J Bouvet Island News 8 February 2023

## Part 3

If you have made a QSO with 3Y0J, and you are sure of it, the team has requested that you NOT TRY TO FILL OTHER BAND/MODE SLOTS. You are taking an ATNO away from someone else.

SSBでもCWでも1度QSOしたらFT8も含め、それ以上QSOしないように！そういう行為は、初ブーベをモノにしようとする人の機会を奪うので・・・とあります。

しかし、多くのDXギャングがこのような「お願い」を真に受けるでしょうか？そうでなくても、スプリット運用しているCWの送信周波数でUPと打ったり、ビートを出したりして迷惑行為も甚だしい状況であり、嘆かわしい限りです。ログは、今週末にはアップロードされるかもしれませんが、それまで確実にQSOできたかどうかは不明のままです。FT8なら人為的なミスコピーは避けられるので、できるならFT8でQSOしたいものです。しかし、ここにも落とし穴があり、パイレーツが横行しているようなのです。パイレーツとQSOして、出来た出来た！と喜んで仕方がありません。

DXnews.comの記事には、撤収のことにも触れられています。現在は、当初から予定されていたセットアップではなく、最小限のリグとアンテナで細々と運用していますが、天候次第で更に運用を縮小するかもしれないとも言っています。Windy.comを見ると、土曜日位まで強風と雨が続くようですし、気温は2~0℃と過酷な状況です。おそらく、この分だとローバンドのアンテナを展開するのは無理でしょう。20mバンドのアンテナもセットアップできたかどうか怪しいものです。確実なのは、30mと17m、15mの3バンドです。

嗚呼！なんと悩ましい事態なのでしょうか？！ 悩むことはないか・・・先人曰く、work first, worry later とか・・・

## 2月10日 混乱が続く3Y0Jの運用

昨夕9時前に、DXscapeを見ると18112kHzに3Y0Jが出ているというのを目にして

無線小屋に行きました。-15dB以上の信号で入感しており十分 QSO 出来そうです。2nd ピリオド(odd)に出ていたなので、MSHV だと思って Tx1 を Skip にして 1000Hz 以下でみましたが応答がありません。どうも F/H モードらしいので、JTDX を F/H モードにセットしてコールを開始しました。

しかし、いくら呼んでも応答はありませんでした。3 回に一度位は受信して、どの周波数に応答があったのかとか、どの周波数が空いているのかとかチェックながらやりましたが、結局 18072kHz(CW)に QSY するとアナウンスがあるまで QSO できませんでした。

ODD ピリオドで F/H もどきのオペレーションをしていたと思われます。WSJT-X では Fox は Even でしか運用できないので、Odd に出ているれば MSVH だと判定できると聞いたことがあります。これまで、そのように信じて判定してきましたが、今回は違ったのでしょうか？私は F/H モードにおける Fox 側の運用をした経験がないので、WSJT-X では Fox は Even でのみ運用できるかどうか不詳です。

ODD ピリオドで運用しているものだから、WSJT-X を使って F/H モード (Hound)に設定している局は知ってか知らずか ODD ピリオドで送信しているのです。これがずっと続いているので、3Y0J に混じって大勢の JA 局がデコードできてしまうのです。

後で聞いた話ですが、私の知人は WSJT-X しかインストールしていないので、F/H ではなく通常モードにセットして、呼ぶ時は 1000Hz 以上で TX1 Skip のチェックを外し Locater 付で呼んで、応答があったら手動で 1000Hz 以下で応答したとのこと。なるほど・・・機転の利いた良い運用です。

今朝、3Y0J のスポット情報をチェックするために DXlite を見ると、昨夜と同じ 18112kHz にオンエアしていたようです。しかも、odd ピリオドの F/H モードモドキという状況も同じです。中には、これは F/H モードではなく MSHV だ！と看破する御仁もいらっしゃいます。北米 (USA)の局にとって、更に酷い状況だったのは、オンエアしている 18112kHz がバンドプランを逸脱した周波数であったことです。これに関しては多くの局がブーイングしています。3Y0J 運用チームの中には 6 人のアメリカ人と 1 人のカナダ人が含まれていますが、この事に誰も気づいていないのでしょうか？事前にアナウンスされていた 17m バンドでの FT8 の周波数は 18090kHz と 18107kHz ということもあり、Fake なのか Fail なのか？・・・北米局にとっては大いに問題ありです。まさか、チームメンバーとして紹介されている Peter (コールサイン不詳) が一人で FT8 の運用を

担っているなんてことは無いでしょうね？！

NY0V	18112.0	<b>3Y0J</b>	110 up out of us band	22:14Z
AD3C	18112.0	<b>3Y0J</b>	i'm lost on what i should do.	22:12Z
K10YQ	18112.0	<b>3Y0J</b>	just mass confusion	21:49Z
W9CY	18107.0	<b>3Y0J</b>		21:40Z
N4HER	18107.0	<b>3Y0J</b>	what is tx tone freq for 3y0j	21:32Z
WM5L	18107.0	<b>3Y0J</b>		21:00Z
IU1BLG	18112.0	<b>3Y0J</b>	stop spott pirate illegall	20:49Z
K4PI	18112.0	<b>3Y0J</b>	usa 18112 illegal digi	20:39Z
WA1TT	18112.0	<b>3Y0J</b>	oops typo houston we have ....	20:38Z
K10YQ	18112.0	<b>3Y0J</b>	pirate??	20:36Z
WA1TT	18112.0	<b>3Y0J</b>	jousten we have a problem	20:35Z
NI5L	18112.0	<b>3Y0J</b>	iaru region 2 allows 18111 to	20:33Z
KP4BD	18112.0	<b>3Y0J</b>	ft8..	20:27Z
IU2IDU	18112.0	<b>3Y0J</b>	fox hound e cambia periodo per	20:27Z
N4NR	18112.0	<b>3Y0J</b>	not legal for usa to transmit	20:27Z
IU2IDU	18112.0	<b>3Y0J</b>	iz0aon pse change period	20:26Z
W1SLF	18112.0	<b>3Y0J</b>	18.107+3=18.110 oob usa invali	20:24Z
IW1FGY	18112.0	<b>3Y0J</b>	when will you use the setup ad	20:23Z
KX3C	18112.6	<b>3Y0J</b>		20:14Z
IU2IDU	18112.0	<b>3Y0J</b>	not fake (look fb info steve h	20:13Z
IU2IDU	18112.0	<b>3Y0J</b>	right frequency on air now ft8	20:13Z
EA8CYU	18112.0	<b>3Y0J</b>	3y0j antartida pirate 3y0j bou	20:00Z
W1KMA	18113.2	<b>3Y0J</b>		19:58Z
K1HZ	18112.0	<b>3Y0J</b>	pirate out of band plan & f/h	19:56Z

このブログを書いている今、3Y0Jは30mバンドのFT8に、昨夕、今朝と同様にF/Hモードもどきでoddピリオドで運用しているようです。どうやら何か信念のようなものがある、故意にやっているようです。

K3RWN	10144.0	<b>3Y0J</b>	3y0j hound not fox??	04:22Z
2E0WHQ	10144.0	<b>3Y0J</b>	hound always odds!	04:17Z
WA5YOM	10144.0	<b>3Y0J</b>	worked fh mode	04:10Z
KC3D	10144.0	<b>3Y0J</b>	is he no longer in f/h?	04:03Z
N6RW	10144.0	<b>3Y0J</b>	wsjt users check tx even box	04:01Z
W6GMP	10144.0	<b>3Y0J</b>	thanks for atno!!!!	04:00Z
AB2E	10144.0	<b>3Y0J</b>	even/first grayed out for houn	03:54Z
CX2SA	10144.0	<b>3Y0J</b>	ft8 298 hz - tnx qso	03:53Z
N6RW	10144.0	<b>3Y0J</b>	call even (first) guys	03:41Z

## 2月11日 やっと出来たよ！3Y0J オマケもあったよ！

一昨日に続き昨日も夜8時頃から無線小屋に籠って3Y0Jが出てくるのを待っていました。午後8時40分頃から18107kHzでやっと見え始めました。その時には既にバンド一杯に広がって多数のJA局が呼んでいました。周波数は一昨日の112kHzから107kHzに替わっていましたが、oddピリオドでの送信は相変わらずです。

私のリニアアンプは18MHz帯で調子が悪くて300W位しか出ません。14MHzや21MHzでは1kW出りますが・・・アンテナの調子が悪いのかもしれませんが、今更どうしようもありません。多くのJA局が次々とQSOして行くのを横目に見ながら、3回送信したら1回位は休憩して空いている周波数を探したり、どの周波数で呼んでいた局にコールバックがあったのかを見たりしながら長い間呼んでいたら、9時19分にやっとコールバックがありました。

The screenshot shows the JTDX software interface. The top part displays a log of received signals with columns for UTC, dB, DT, Freq, and other parameters. The middle part shows a list of transmitted messages with columns for UTC, dB, DT, Freq, and Message. The bottom part shows the current status of the software, including the frequency (18.107000), time (12:19:34), and various control buttons like 'Tx FT8', 'Report 1', 'S meter', 'DX Call', 'DX Grid', 'Tx 411 Hz', 'Reserved', 'Hound', 'Tx/Rx Split', 'AutoTX', 'AutoSeq', 'Lookup', 'Add', 'Rx 274 Hz', 'Wanted', 'Iune', 'Monitor', 'Bypass', '1 QSO', 'AnsB4', 'Stop', 'Enable Tx', 'Halt Tx', 'GenMsgs', 'CQ', 'DX', 'RRR', 'SkipTx1', 'Log QSO', 'Erase', 'Hint', '3WL mode', 'AGCc', 'Filter', 'Decode', 'Clear DX', 'Receiving', 'FT8', 'Last Tx: 3Y0J JH4ADK R+01', 'WD 6m', '4/15', 'Logd', '10.02.2023', 'FT8 7446'.

パイレーツでないことを祈るばかりです。QSO出来た時には、+5dBまで信号レベルが上がっていました。

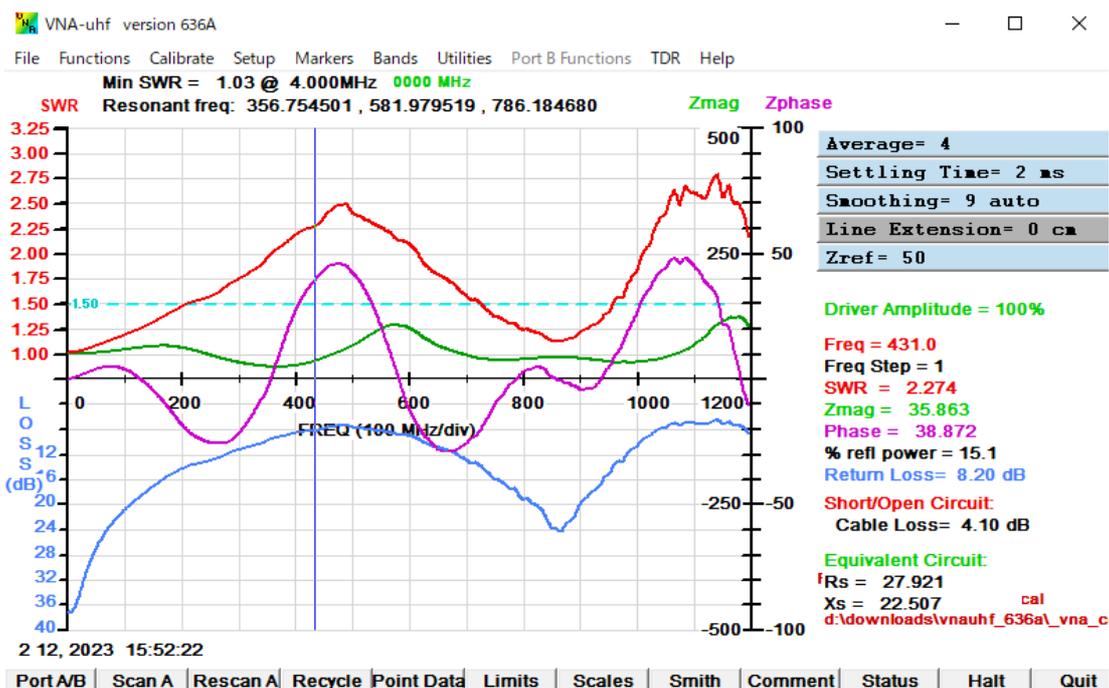
出来るだけ重複を避けるために、JF1IST 藤原さんも参加されていた1989～90年の

ブーブ島へのDXペディション(3Y5X)のQSLカードをチェックしていました。私はその頃 WARCバンドや RTTY はやっていなかったもので、SSBとCWのみで40/20/15mバンドで4QSO出来ていました。昨夕のQSOは、そのどれとも被らないバンドニュー・モードニューです。

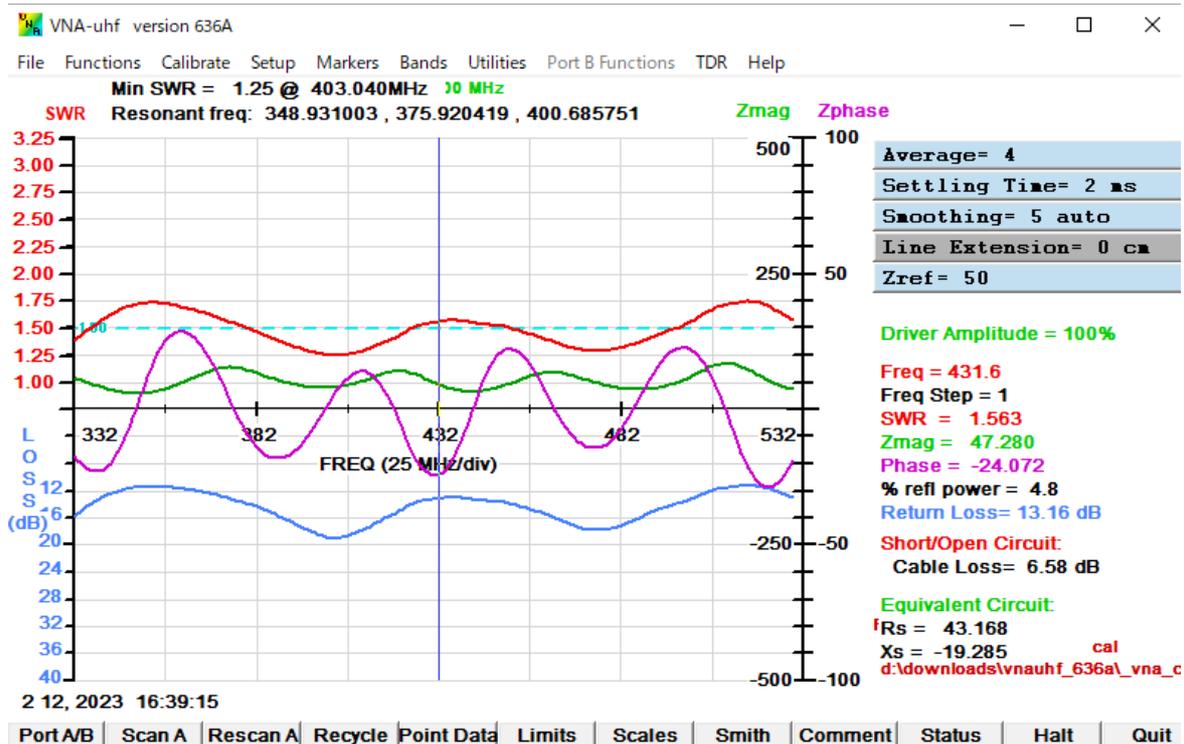
DX関係のニュースを見てFT8WW(Crozet Is.)での運用が再開されたことは知っていましたが、3Y0Jが未だデコードできない頃にDXscapに書き込みがあったので、QSYして呼んでみたところ簡単にコールバックがありました。FT8WWとは3バンドでQSOできていてLoTWでもコンファーム済みですが、どれもFT8です。これでモードニューをゲットです。

## 2月12日 ダミーロードの周波数特性

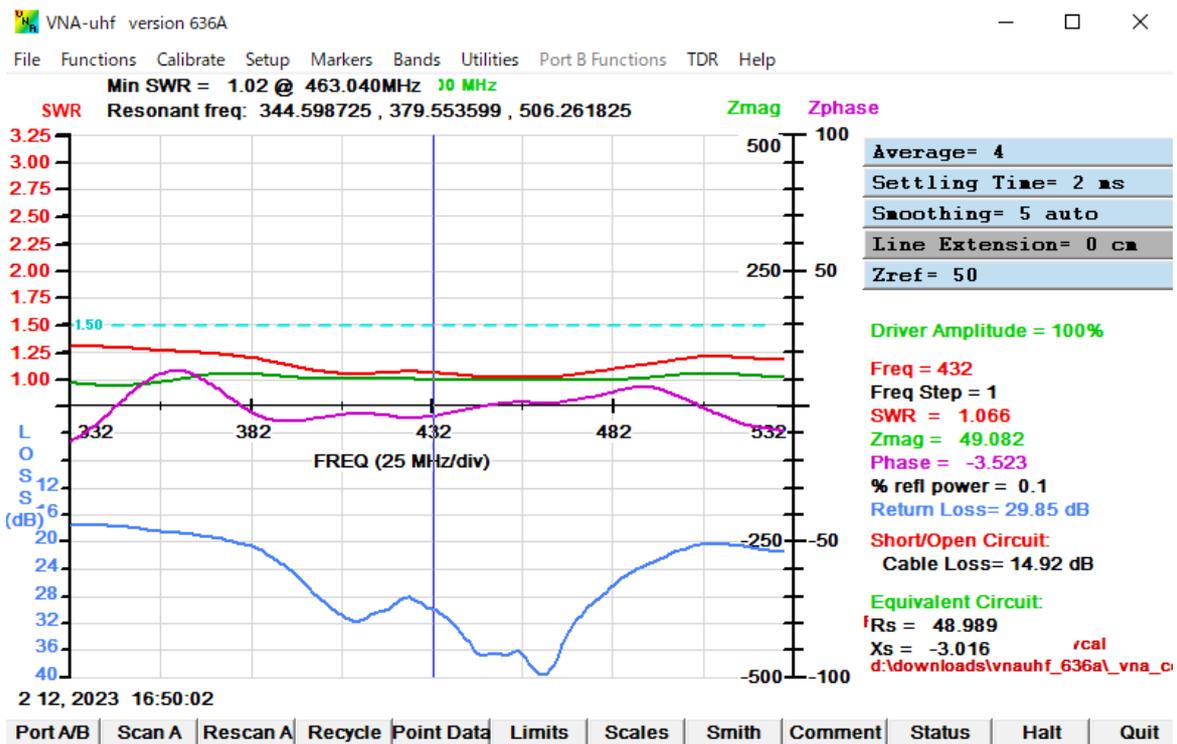
1月30日のブログで紹介している方法でリニアアンプを動作させています。第2高調波と第3高調波が少し残っているので、これらを除去するためにLPFを製作して評価しています。ここで、問題発生。LPFをリニアアンプと分配器の間に入れると、リニアアンプの出力が400W位しか出なくなるのです。何が問題なのか色々調べたところ、HF帯や2mで使用していたダミーロードが430MHzではSWRが高くて宜しくないということが判明しました。



上図にダミーロード単体を VNAuhf で測定した結果を示します。144MHz あたりまでなら使えそうですが 430MHz 帯では SWR が 2.2 もあるため NG です。何で、電力測定などの時には使えたのでしょうか？ Q マッチによるトリックがあったのかもしれませんが。ちなみに、リニアアンプ以降に接続されているケーブルや分配器・ダミーロード・アッテネータなど一切を VNAuhf に接続して SWR を測定すると次のようになりました。SWR が約 1.5 なのでなんとか許容範囲だったのかもしれませんが。



今日、近所のハム友を訪問してダミーロードの代わりになる 30dB アッテネータ (250W) を借りてきました。私が持っている Bird の 30dB アッテネータ (300W) よりも少し大型です。これを接続して SWR を測定すると、今度はバッチリです。これならちゃんと LPF の評価ができそうです。

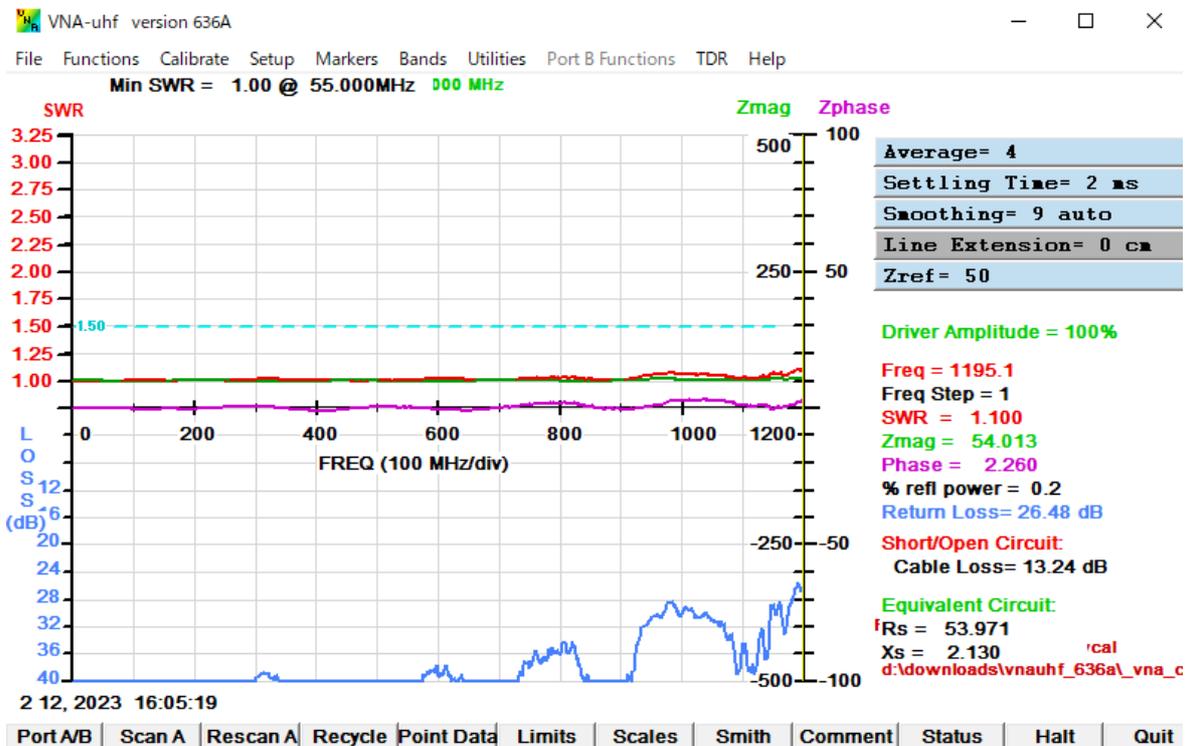


写真上側のダミーロードが HF 帯として使用してきたモノで、東京電波・昭和 40 年製造・定格不詳。右下のモノが、Bird 製 300WA-FFN-30 で 300W 30dB のアッテネータ。写真中央のモノが、知人から借りてきた DICONEX 製の 250W 30dB のアッテネータです。DICONEX の 250W の方が Bird 製の 300W よりも放熱面積が大きそうですので、実力は

300W 以上あるかもしれません。DICONEX のアッテネータ単体の周波数特性は次の通りで、430MHz 帯での SWR は 1.06 以下です。



因みに、Bird の 300W アッテネータの優れていて、430MHz 帯で SWR 1.02 以下です。



## 2月13日 CSVファイルからHTMLファイルに変換

ひよんなことから、とある団体の中国支部のWeb担当をお引き受けすることになりました。勿論、無報酬のボランティアとしてです。ホームページ作成にあたっては、ホームページビルダーなどの有償アプリは使わないで、テキストエディターのみでゴリゴリ書いていく手法です。こんな方法でも、Bootstrap5の恩恵によりシンプルでレスポンス的なWebデザインが作成できて、追加や修正などの編集が簡単にできます。しかし、年間行事予定表や役員名簿などの表を作成する時、テキストエディターだけで入力するのは大変手間がかかる作業です。いちいちtrタグやtdタグなどを付けなければならないからです。こんな面倒なことを辛抱強くやっていると間違いの元なので、CSVファイルからHTMLファイルに変換するソフトがあれば便利なのになぁ・・・と思いました。

ネットでググってみると、そういうサービスを提供しているサイトが幾つか見つかりました。しかし、外国のサイトのためか、日本語（Shift-JISによるカナ漢字）のデータは化けてしまいました。仕方がないので、自分で作ることにしました。作成にあたり、仕様を次のように設計しました。

プロジェクト名：

csv2html

機能：

表計算ソフトで作成したcsv形式のデータをhtmlファイルに変換する。

使用目的：

ホームページを作成する際に、表を手入力で作成するのは手間がかかるので、一括で変換して、コピペしてホームページを作成する。

仕様：

csvファイルを入力とし、htmlファイルを出力する。

入力ファイル名の拡張子はcsvとし、出力ファイル名は入力ファイル名の拡張子をhtmlに付け替えたものとする。

htmlファイルには、ブラウザで表示し確認できるようにBootstrap5に対応したヘッダを付ける。

csvファイルには、Shift-JISのカナ漢字が含まれることとする。（Windows標準）

html ファイルは、utf-8 形式のデータに変換されることとする。

csv ファイルのカラムはコンマで区切られることとし、それ以外（; やスペース）はデリミタとして認識しないこととする。

csv ファイルのカラムはダブルクォーテーションで囲まないこととする。

csv ファイルの 1 行目には、カラム名がカラム数だけ記述されていることとする。

開発環境：

Visual Studio Community 2022 VB.net を使用する。

デバッグし易いように次のようなフォームにしました。スクロール可能なテキストボックスに変換後の html ファイルが表示されます。デバッグ時には、ここで内容を確認しました。

input file(CSV file) Shift-JIS

C:¥ ¥表のサンプル.csv 参照

カラム数 4 変換開始

```
<td>行4・列3データ</td>
<td>行4・列4データ</td>
</tbody>
</table>
</div>
<script
src="https://cdn.jsdelivr.net/npm/bootstrap@5.0.2/dist/js/bootstrap.bundle.min.js"integrity
="sha384-MrcW6ZMFYlzcLA8NI+NtUVF0sA7MsXsP1UyJoMp4YLEuNSfAP
+JcXn/tWtIaxVXM"crossorigin="anonymous"></script>
</body>
</html>
```

output file(HTML file) utf-8

C:¥ ¥表のサンプル.html 出力

上の図は実際に動作させた時のスナップショットですが、入力ファイルである「表のサンプル.csv」はOpenOfficeで作成したものです。OpenOfficeでは次のように表示されています。

表のサンプル.ods - OpenOffice Calc

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

MS Pゴシック 10 B I U

l16

	A	B	C	D
1	列1見出し	列2見出し	列3見出し	列4見出し
2	行1・列1データ	行1・列2データ	行1・列3データ	行1・列4データ
3	行2・列1データ	行2・列2データ	行2・列3データ	行2・列4データ
4	行3・列1データ	行3・列2データ	行3・列3データ	行3・列4データ
5	行4・列1データ	行4・列2データ	行4・列3データ	行4・列4データ

変換後の「表のサンプル.html」を Edge で表示すると次のようになりました。

csv2html

ファイル | C:/Users/nam...

列1見出し	列2見出し	列3見出し	列4見出し
行1・列1データ	行1・列2データ	行1・列3データ	行1・列4データ
行2・列1データ	行2・列2データ	行2・列3データ	行2・列4データ
行3・列1データ	行3・列2データ	行3・列3データ	行3・列4データ
行4・列1データ	行4・列2データ	行4・列3データ	行4・列4データ

実際にホームページを作成する時には、html ファイルの一部（表の部分）をコピーしてターゲットの html ファイルにペーストします。

VB.net のソースコードを、このブログに掲載しようと試みたところ、ダブルクォーテーションで囲んだ部分が消失するなどのトラブルがあったので、代わりに私の HP のプログラミングチャンネルに記事を作成して掲載しました。製作メモの中にソースコードを掲載しています。宜しければご覧ください。なお、exe ファイルを含むプロジェクトファイルもダウンロードできるように掲載していますが、お使いのブラウザがダウンロードをブロックするかもしれませんので、悪しからず。

## 2月14日 J8/AJ4YX Saint Vincent

期待の大きかった3Y0JはQRTしてしまいました。ハイバンドのコンディションが良い時期なので、12mや10mでもQSOしたいと思っていましたので残念です。

NICTの宇宙天気予報を見ると、太陽活動が活発になっていて太陽黒点数は200を超えそうな勢いです。もう2月も半ばなので、春のDXシーズン開幕といったところでしょう。そろそろ6mにも注意が必要です。2月12日(日曜日)にはXZ2Bと50.090MHzでCWでQSOできました。

24MHzや28MHzが面白そうだと思っていた矢先に、28091kHzにJ8/AJ4YXが出ているというのでQSYしてコール開始しました。3Y0Jとは違って、ちゃんとしたF/Hモードで呼ぶ局も少な目だったので、暫く呼ぶとQSOできました。J8のコールサインを見るのは久しぶりです。J8という部分文字列でログをパーシャルチェックしてみると僅か3局がリストされただけでした。FT8ではモードニュー、10mでバンドニューです。

The screenshot shows the JTDX software interface. The main window displays a log of QSOs with columns for UTC, dB, DT, Freq, Avg, Lag, and Sand. The current frequency is 18.091000 MHz and the time is 22:57:24. The interface includes various controls for TX, RX, and logging, as well as a list of stations on the right side.

UTC	dB	DT	Freq	Avg	Lag	Sand	Activi
225545	-4	0.1	2480	~	J8/AJ4YX	6K5YIA	PM45
225545	-1	0.1	2137	~	J8/AJ4YX	JA1VSL	PM95
225545	-3	-0.1	1758	~	J8/AJ4YX	JE3MDQ	PM74
225545	-6	-0.1	2339	~	J8/AJ4YX	JK1UNZ	QM06
225545	-8	-0.1	1685	~	J8/AJ4YX	JR3NZC	PM74
225545	-9	0.4	1232	~	AJ4YX	JG6NGS	PM53
225545	-11	0.4	1398	~	J8/AJ4YX	JH1QYT	QM05
225545	-10	0.0	2266	~	J8/AJ4YX	JF1DMY	PM95
225545	-6	-0.0	1274	~	J8/AJ4YX	JR7HAN	QM09
225545	-6	0.0	2055	~	AJ4YX	JA8AWH	QN02
225545	-11	0.1	1196	~	AJ4YX	JA5ALE	PM74
225545	-11	1.0	2278	~	J8/AJ4YX	JG1SRB	PM95
225545	-3	0.1	1981	~	J8/AJ4YX	BD3CB	OM88
225545	-7	-0.0	2018	~	J8/AJ4YX	JA1WVO	PM95
225545	-1	0.1	1934	~	J8/AJ4YX	JL1RUC	PM95
225545	-14	0.4	2342	~	K6GZ	JA6RCH	PM53
225545	-9	-0.0	1663	~	J8/AJ4YX	JA1SJV	PM95
225545	-10	0.1	1388	~	J8/AJ4YX	JA8JLC	QN03
225545	-10	0.2	1153	~	J8/AJ4YX	DS5TOS	PM45
225545	-8	0.1	1636	~	J8/AJ4YX	JH1USR	QM05
225545	-14	-0.1	1172	~	J8/AJ4YX	JA0DAI	PM97
225545	-14	-0.0	1188	~	J8/AJ4YX	JH0AWC	PM97
-----	13.02.23	22:56:14	UTC	-----	17m		
225600	-14	0.1	396	~	JA8AWH	AJ4YX	-06
225600	-13	-0.5	1819	~	BD3CB	JH2IEE	+01
225600	-15	0.1	456	~	JA1SJV	AJ4YX	-03
-----	13.02.23	22:56:44	UTC	-----	17m		
225630	-13	0.1	456	~	JA8AWH	AJ4YX	RR73
225630	-13	0.1	396	~	JA1SJV	J8/AJ4YX	RR73
225630	-13	0.1	396	~	JH4ADK	J8/AJ4YX	+02
-----	13.02.23	22:57:14	UTC	-----	17m		
225700	-12	0.1	396	~	JH4ADK	J8/AJ4YX	RR73
225700	-12	0.1	396	~	F4FTV	J8/AJ4YX	-04

このQSOの後、J35Xが28095kHzに出ているというのでQSYしてワッチしていましたが、私の設備では僅かに1度-20dBでデコードできたただけでした。その後、28086kHzでVE2CSI(zone2)とQSOしました。10mのZone2はニューです。LoTW

でチェックすると、Zone2 の他 Zone34, 40 に空欄がありました。5BandWAZ が射程に入ってきました。

その後は、10m の FT4 で 35 局位と QSO しました。FT4 はテンポ良く QSO できて軽快です。

## 2月15日 VP8AWU Falkland 12m, HR1R Honduras 10m などなど

今朝は7時半頃から無線小屋に籠りました。外は、薄っすらと雪景色で、寒い一日になるという天気予報だったので、10時頃まで無線で遊んでから、帳簿の整理をすることにしました。

最初のターゲットは、24915kHz の FT8 に出ていた VP8AWU でした。R-04 のレポートは貰えましたが 73 は返らず CQ を出していました。中にはこういう運用スタイルの局もいますねえ～。これで良いのか駄目なのか？です。多分 OK なのでしょう。

The screenshot shows a radio software interface with a list of received signals and a control panel. The list includes columns for UTC, dB, DT, Freq, and Message. The control panel includes buttons for 'Enable Tx', 'Halt Tx', 'Log QSO', 'Erase', 'AGC', 'Filter', 'Decode', 'Clear DX', 'GenMsgs', 'CQ', 'DX', 'RRR', 'SkipTx1', and 'Tx 1' through 'Tx 6'. The status bar at the bottom shows 'Receiving FT8', 'Last Tx: VP8AWU JH4ADK RR73', 'WD 5m', '3/15', 'Logd', '14.02.2023', and 'FT8 7460'.

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
113100	-11	1.2	207	~ JH4ADK VP8AWU R-04	
113100	-16	-0.2	1209	~ CQ PP5ZP GG53	
113100	-7	-0.0	2221	~ LZ145GO JA0FVU PM97	
113100	-11	0.2	1361	~ LZ145GO CX8DSK GF25	
113100	-16	0.1	2696	~ CQ 009A JO20	
113100	-17	0.0	2810	~ RU0AX RA4P RR73	
113100	-12	-0.5	1155	~ BX8AAN/MM EA3HXV JN11	
113100	-14	-0.3	1271	~ LZ145GO PU2RXS GG66	
113100	-20	0.1	1766	~ VU2PTT SV3RIA -24	
113100	-14	0.5	1072	~ JH5MXB DJ0YI JN48	
113100	-18	0.2	1179	~ CQ 2E0FQT IO93	
113100	-16	0.1	2350	~ JH5MXB DK7ZT -16	
113100	-18	0.1	2193	~ CQ DJ1SL JO42	
113100	-19	-0.1	2287	~ CQ SV1ONU KM18	
113100	-25	0.1	451	~ DK7OM CT3HU -21	
113100	-23	0.1	1610	~ HS2KYA DL7APJ JO62	
113130	-16	0.1	2696	~ CQ 009A JO20	
113130	-9	0.1	1980	~ BD7BM F4GTB -01	
113130	-8	-0.0	2221	~ CQ JA0FVU PM97	
113130	-11	-0.5	1155	~ BX8AAN/MM EA3HXV JN11	
113130	-9	0.2	1362	~ LZ145GO CX8DSK GF25	
113130	-12	1.2	207	~ CQ VP8AWU	
113130	-12	-0.3	763	~ SV9MBH PU2RXS GG66	
113130	-16	0.5	1071	~ JH5MXB DJ0YI JN48	
113130	-19	-0.2	1209	~ CQ PP5ZP GG53	
113130	-18	0.1	2350	~ JH5MXB DK7ZT -16	
113130	-18	-0.1	890	~ A41DX G0KLD R-14	
113130	-23	0.1	1611	~ HS2KYA DL7APJ R-13	
113130	-15	0.1	2193	~ CQ DJ1SL JO42	
113130	-21	0.0	1765	~ VU2PTT SV3RIA -24	
113130	-20	0.2	1178	~ CQ 2E0FQT IO93	
113130	-21	0.0	2167	~ CQ G0RVY JO01	

その後、24920kHzのFT4で北米の局と10局位QSOした時、28455kHzにJ69Z/Pが出ているというので、不得意のSSBでしたが、割と簡単にQSOできました。10mのSSBは比較的賑わっていましたが、難聴気味なのでFT4で北米に向けてCQを出して遊びました。今日は10mの調子良かったみたいで、DXscapeの書き込みを見てFM8QR(SSB)、PJ2/W9NJY(CW)、KP4TF(CW)などQSOした後、DXscapeを横目で見ながら再びFT4で遊びました。28074kHzに出ていたPJ4/NE9Uや21035kHzに出ていたPJ2/NF9VともQSOできました。こんなにカリブ海の局とQSOできるなんて夢のようです。今朝、10mのSSBでQSOできたJ69Z/PとFM8QRはバンドニューです。

28180kHz(FT4)に戻ってみるとHR1RがCQを出していました。前からQSOしたいと思っていたので、呼ぶと直ぐに応答があり目出度くバンドニューをゲットです。

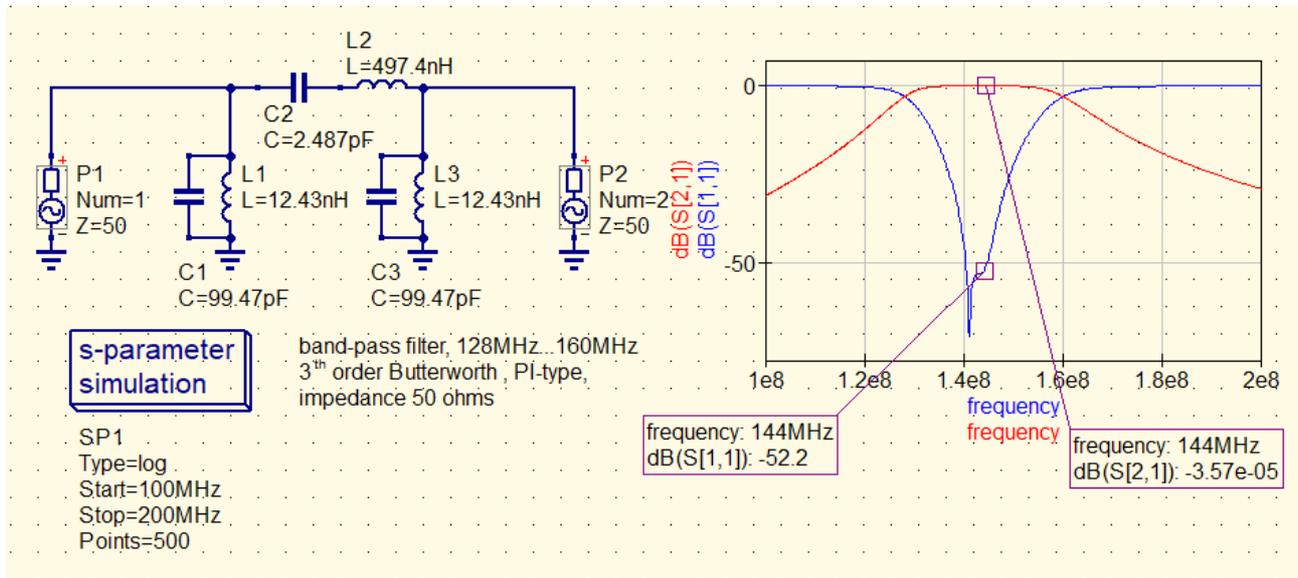
The screenshot shows the JTDX software interface. The main window displays a list of received messages with columns for UTC, dB, DT, Freq, and Message. A message from HR1R JH4ADK RR73 is highlighted. The message log on the right shows a list of messages with columns for UTC, dB, DT, Freq, Message, and Rx Frequency. The interface also shows various controls like 'Enable Tx', 'Halt Tx', 'Log QSO', 'Erase', 'AGC', 'Filter', 'Decode', 'Clear DX', and '3WL mode'.

## 2月16日 2m用BPFの製作

QucsStudioを用いて、2m用BPF（3次チエビシエフ型）を製作しました。通過帯域幅を狭くするとC2が0.5pFなどと小さくなり過ぎるので、通過帯域幅を広くしました。製作するにあたって、C1=C3の値が切りの良い100pF前後になって欲しいものです。このためには、通過帯域幅を45MHz程度にすれば良さそうです。通過帯域を128～

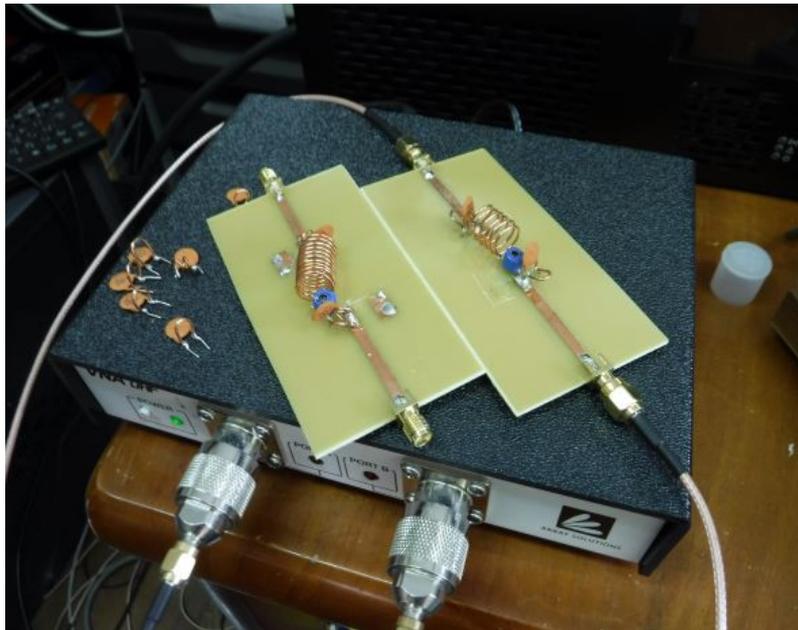
160MHz とすると、

$C1=C3=99.47\text{pF}$ 、 $L1=L2=12.43\text{nH}$ 、 $C2=2.487\text{pF}$ 、 $L2=497.4\text{nH}$  となったので、これに合わせて製作すると、通過帯域の中心周波数が 124MHz となり、この周波数で  $S21=-1.7\text{dB}$ 、 $S11=-12.4\text{dB}$  ( $\text{SWR}=1.52$ ) となりました。なかなか計算通りには行きません。

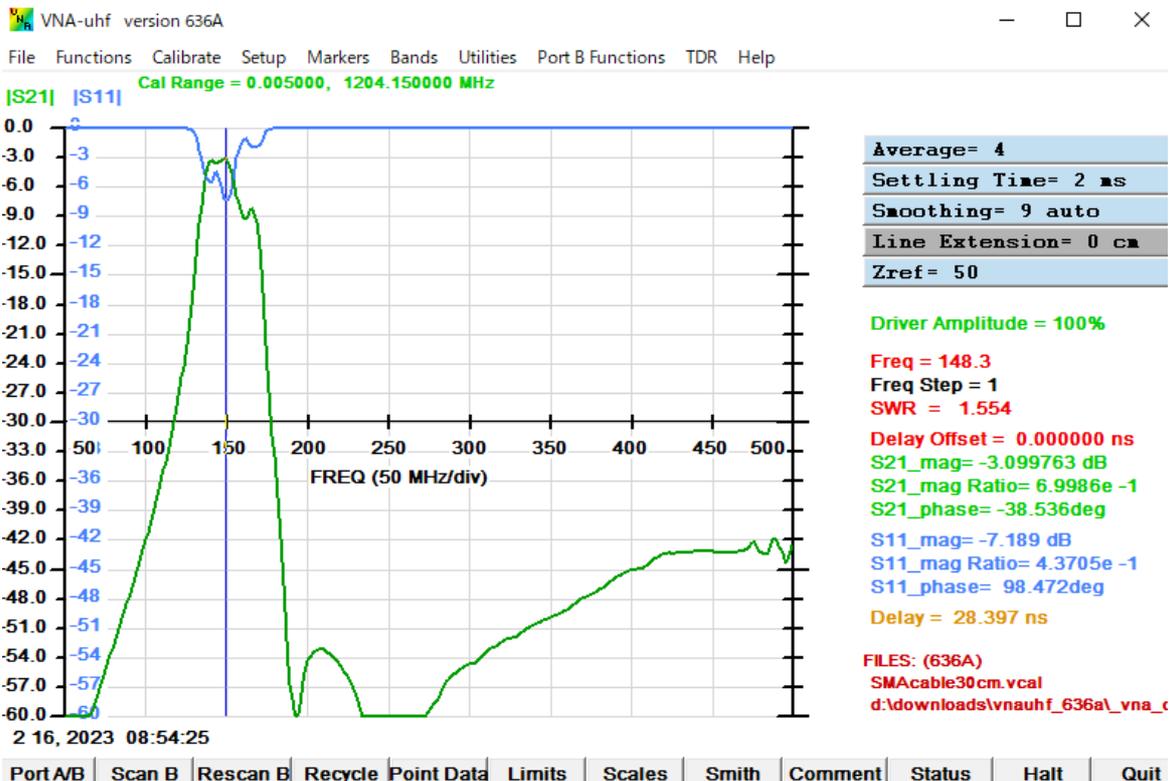


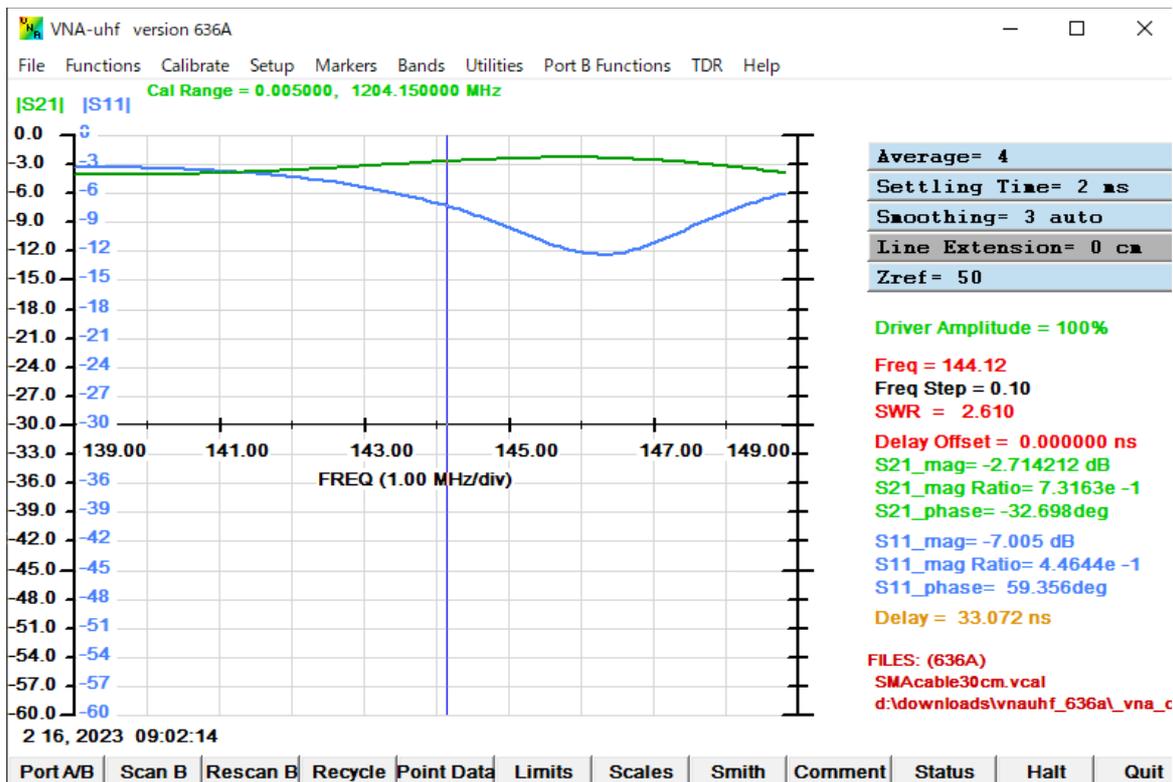
試行錯誤の結果、通過帯域少し高く 140~185MHz にすると、

$C1=C3=101.4\text{pF}$ 、 $L1=L2=9.65\text{nH}$ 、 $C2=3.47\text{pF}$ 、 $L2=281.8\text{nH}$  となりました。C2には 5pF のトリマコンデンサ、L2 には、線径 0.8mm 長さ 194.3mm のポリウレタン線を直径 9.5mm のパイプに 6 回巻き ( $D=10.3$  で設計)  $L=8.8\text{mm}$  としました。L1/C1 および L3/C3 の共振周波数は調整できないので、これが肝だと気づきました。VNAuhf で LC 共振周波数を測定しながらカットアンドトライを繰り返しました。最終的に、L1=L3 は、線径 0.8mm 長さ 16mm にカットして、 $\phi 4.0$  のドリルビットを利用して馬蹄形に整形し端部の断面間の距離は 3.0mm として 100pF のセラミックコンデンサのフォーミングされて狭くなっている部分に半田付けしました。結局 L1=L3 は鮎釣りに使うハナカンのような形になりました。



最終的に調整した結果、144.12MHzで挿入損失(S21)が-2.7dBになりました。S11は145.6MHzでディップし-12.1dB、SWR=1.64でした。L2やC2を調整してみました。S11のディップ周波数を144.1MHzに近づけるのは困難でした。下手に触ると、144.1MHz付近のS21が悪化するので、このあたりで手を打つことにしました。受信用に使用するので、挿入損失が多少あっても、帯域外の信号を低減することでS/Nが向上すれば良いのです。





来週には月が近地点を通過し、EMEには適したコンディションになるので、製作したBPFをSDRの前段に設置して効果を確認したいと思います。ヘリカルリゾネーターを使ったBPFでは挿入損失を1dB以下にできるらしいので、今後チャレンジしてみたいと思います。

## 2月17日 e-Taxで確定申告

昨日から確定申告の受付が始まりました。昨年迄は国税庁のHPで確定申告書類を作成して印刷した書類を税務署に郵送していましたが、今年はマイナポイントをゲットするためにICカードリーダーを購入したので、e-Taxにチャレンジしてみました。スマホの場合にはICカードリーダーは不要のようですが、スマホは不得意なのでパソコンを使用しました。

昨日までに農業と営業の帳簿類の整理は済ませており、貸借対照表や損益計算書は準備できていました。国税庁の確定申告コーナーから営業・農業の決算書類を入力し、所得税の申告をしました。もう7~8年も同様のことをしているので手慣れてきました。今年度

は、10月に怪我をして病院に入院したので、医療費控除も受けようと思っていました。今年から、マイナンバーカードで国保の取りまとめをしている町と連携することで、医療費の領収書を添付しなくても良さそうなのです。しかし、良いところまで行ったのですが、次のようなエラーメッセージが出てしまいました。

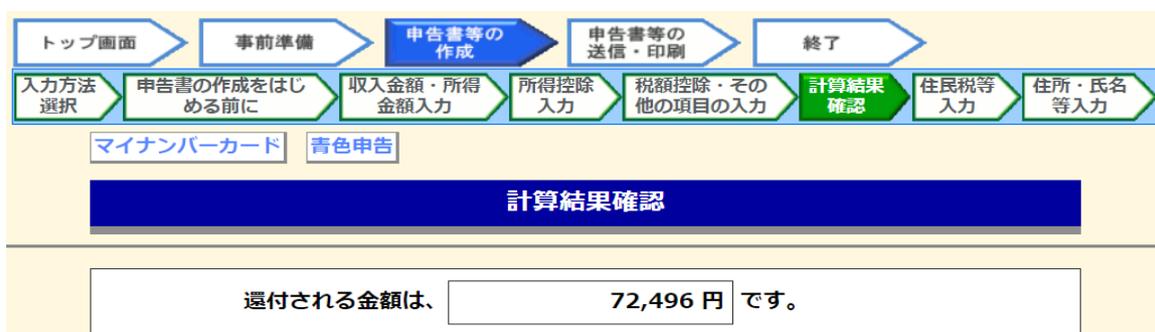
適用控除選択 > 入力方法選択 > **入力** > 計算結果確認

## 医療費通知データ読込結果

✕ e-Taxでご利用になれない文字が含まれている医療費通知データが存在します。  
e-Taxで送信することができませんので、生年月日を入力した画面まで戻り、提出方法を書面提出に変更してください。  
e-Taxで送信する場合は、該当ファイルの削除を行ってください。

原因は「医療通知データ」の中にあるので、私の落ち度ではなく、全くお手上げです。e-Taxで申請するのを止めて代わりに書面で申請するか、医療費控除をせずにe-Taxで申請するかの2択になってしまいました。書面で申請した場合、青色申告の控除額は55万円となり-10万円です。医療費控除の額は、実際に支払った額398,345円に高額医療費として支給を受けた244,170円を引いた154,175円から更に10万円を引いた、54,175円なので青色申告を生かした方が得です。

妻に専従者給与支払っても、農業所得は僅かながら黒字です。営業（太陽光発電）も20kWの設備なので大したことはありませんが、これも黒字です。しかし、年老いた両親と同居しているので、扶養控除が116万円もあるので、所得税額はゼロ円になる予定です。折角確定申告するのですから、個人年金や配当金の受け取り時に源泉徴収された所得税を還付してもらえるように申告しました。その結果は次のようになり、源泉徴収された分は全額返還されることになりました。



苦労して帳簿類を整理し決算書類を作成した甲斐があったというものです。実は、ここにも落とし穴があるので、手放しでは喜べないです。源泉徴収された配当金や個人年金を、



TO4A を呼んでいる時に、25915kHz で見えていたのですが、TO4A と QSO 出来た後で、コールを開始しました。TO4A 程手こずらず、10 分程呼んで QSO できました。

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
232500	-8	0.0	394	~ JA5EXC NP4JN 73	
232500	-7	0.1	2889	~ XE2BY N5WXY EM40	
232500	-5	0.8	1867	~ CQ NA JA0IAA PM97	
232500	2	0.1	2002	~ JE1HRC N4XU R-13	
232500	-6	-0.2	1352	~ JA1LAS K3SAE R-06	
232500	5	-0.0	1055	~ CQ KG6JDX QK23	
232500	-10	-0.0	148	~ HL2NF W4CHA EL88	
232500	-9	0.0	2722	~ YV2AVT AE0NR EN11	
232500	-15	-0.0	1238	~ CQ N6AJR DM14	
232500	-11	0.1	1635	~ W5WCA NN8W -07	
232500	-3	-0.0	945	~ KB0JI JK1GRG -07	
232500	-11	0.1	270	~ UA0CA N4MNV EM73	
232500	-5	0.0	1157	~ HL2EIZ KM4F EM73	
232500	-9	0.0	1706	~ HL2WA N4VG R-09	
232500	-5	0.0	882	~ NH6JC W9TTG EM69	
232500	-11	0.0	2863	~ UA0CA N4HAC R-04	
232500	-13	0.0	837	~ CQ N67L DM33	
232500	-16	-0.2	1134	~ DS4NPL WT9U EN71	
232500	-5	0.1	2054	~ HL2NF K1UO RR73	
232500	-9	0.0	2305	~ PU5SQL KK5JY EM16	
232500	-12	2.3	490	~ HL2EIZ VA3TIC FN14	
232500	-15	0.0	2741	~ JH8SIT N8HM FM18	
232500	-15	-0.0	405	~ JJ2HCM HI3A -16	
232500	-15	0.1	851	~ CQ WJ3EP DM26	
232500	-9	-0.0	1611	~ HL2VA KG5NP EM26	
232500	-14	0.0	1479	~ W2LPL JQ6RUP R-24	
232500	-13	0.2	2149	~ CQ DX KC1RTX FN31	
232500	-15	-0.0	1657	~ CQ KC1RET FN42	
232500	-18	0.2	1009	~ HL2EIZ CO2CW 73	
232500	-16	0.0	1287	~ PU5CVB KD0JHZ R+00	
232500	-16	0.1	1118	~ DS5TOS KA1W FN31	
232500	-12	0.1	1106	~ JH9IBF K2OF -17	

次は、FG1GW Guadelupe です。最初は、FG1FU が 28074kHz に出ているというので呼んでいましたが、QRM があってデコード出来たり出来なかったりで、中々コールバックがありませんでした。その内に FG1GW が別の周波数で CQ を出し始めたので、コールすると即座にコールバックがありました。ナイスタイミングでした！

✱ JTDX by HF community v2.1.0-rc151 , derivative work based on WSJT-X by K1JT

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=1.24 Lag=+0.91 check time \$ 28.074 000 23:54:50 TX 15/45 Pwr

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
235430	-7	1.3	2146	~ YB2MM W0TF -04	
235430	-12	1.3	451	~ JE1HRC XE2J R-12	
235430	-17	0.4	853	~ CQ ZP9MCE GG22	
235430	-17	1.4	2613	~ 9W8VAT VK7XX +00	
235430	-9	1.5	142	~ NP4BM JH6ETS PM53	
235430	-9	1.0	991	~ FG5FU JS2LGN -06	
235430	-10	1.3	3090	~ CQ K1FKU FN00	
235430	-13	1.2	1059	~ FG5FU JM7UBI QM07	
235430	-17	1.3	156	~ CQ WB2UBW EM67	
235430	-8	1.2	498	~ VE3SCP JA8KSF -06	
235430	-16	1.3	2627	~ NP4BM NK2J R-12	
235430	-15	1.5	2900	~ HC2AO JA2UDU PM85	
235430	-9	1.4	342	~ NT5TE JA1WSK -16	
235430	-12	2.1	2280	~ NT5TE JR7RHO -10	
235430	-16	1.5	1003	~ N5RWM KI7UXL DN40	
235430	-12	1.3	590	~ KQ4FMX JE1VTZ 73	
235430	-11	1.3	1730	~ YB2MM W0TF -04	
235430	-7	1.4	2055	~ YB2MM K4YJ EM88	
235430	-16	1.5	1046	~ CQ W8MAF EN82	
235430	-14	1.3	2461	~ HI8ARJ JA9NLE PM86	
235430	-7	1.3	371	~ N3HSH BA7LIP -15	
235430	-11	1.3	2230	~ CQ NA JI3VUB PM74	
235430	-18	1.3	1933	~ YB2MM KB7TU R+02	
235430	-10	1.3	2010	~ K1DAT JR4ABB -08	
235430	-22	1.3	694	~ KB6SSN JH5HDA R-20	
235430	-12	1.3	2137	~ HI8ARJ HL2NF PM37	
235430	-18	1.3	2704	~ HI8ARJ JH7SSJ QM08	
235430	-13	1.2	2082	~ TI2MOT JH1LPZ PM95	
235430	-16	1.3	1374	~ CQ PT2PAG GH64	
235430	-16	1.3	542	~ W7JZI KE8Y R-04	
235430	-13	1.3	453	~ HI8ARJ 7K1PTT PM96	
235430	-17	1.6	2428	~ HI8ARJ HL2DAA -18	
235430	-13	1.3	678	~ J73ESL K1DAT FN42	
235430	-13	1.3	1850	~ HI8ARJ 7K1III PM95	

10m Spt Menu Tx FT8 Report -15 S meter

DX Call DX Grid Tx 200 Hz Reserved Hound

FG1GW FK96 Tx/Rx Split AutoTX

Az: 18 14115 km Rx 199 Hz Wanted AutoSeq

Lookup Add

UTC dB DT Freq Message Rx Frequency

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
235000	Tx		992	~ FG5FU JH4ADK -19	
234945	-11	0.0	992	~ JH8UQJ FG5FU -06	
235015	-15	0.0	991	~ JH8UQJ FG5FU RR73	
235030	Tx		992	~ FG5FU JH4ADK -15	
235100	Tx		992	~ FG5FU JH4ADK -15	
235130	Tx		992	~ FG5FU JH4ADK -15	
235145	-11	0.0	992	~ JH3GFA FG5FU R-04	
235300	-13	1.5	983	~ HI8ARJ 7K1PTT PM96	
235300	-15	-0.2	199	~ CQ FG1GW FK96	
235318	Tx		992	~ FG1GW JH4ADK -15	
235330	-15	-0.2	200	~ JH4ADK FG1GW R-11	
235345	Tx		543	~ FG1GW JH4ADK RR73	
235400	-14	-0.2	199	~ JH4ADK FG1GW R-11	
235415	Tx		543	~ FG1GW JH4ADK RR73	
235430	-11	-0.2	199	~ JH4ADK FG1GW 73	

Enable Tx Halt Tx GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1

Log QSO Erase FG1GW JH4ADK PM64 Tx 1

Hint SWL mode FG1GW JH4ADK -15 Tx 2

AGCc Filter FG1GW JH4ADK R-15 Tx 3

Decgde Clear DX FG1GW JH4ADK RR73 Tx 4

FG1GW JH4ADK 73 Tx 5

CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

Receiving FT8 Last Tx: FG1GW JH4ADK RR73 WD 6m 5/15 Logd 17.02.2023 FT8 7479

次は、OX7AKT Greenlandです。DXscapeから情報を得て18100kHzにQSYしてみるとデコードできたのでコールを開始しました。7回目でコールバックがありました。OX7AKTとは30mでもQSO出来ていますが、17mでもバンドニューをプレゼントして貰いました。

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=0.05 Lag=+1.20 and Active

001830	-4	0.0	320	~	JF1IZA WE2M -16
001830	-13	0.0	1093	~	D2UY W1JN FN31
001830	-20	0.0	1655	~	JR1TMI KE9SX R-15
001830	-20	0.2	1481	~	CQ VK4GP QG62
001830	-6	-0.1	2100	~	D2UY YB4CHP OI18
001830	-19	0.0	1275	~	YE3BER PY2XO -12
001830	-4	0.0	2009	~	AC8MR W6YLZ -08
001830	-17	0.3	711	~	HClHN K4YYL EM84
001830	-19	-0.2	1352	~	CQ KC2DMC FN21
001830	-14	0.0	2046	~	JH4ADK OX7AKT R+06
001830	-15	0.0	2101	~	YB5QZ N4HAC FM08
----- 18.02.23 00:19:14 UTC ----- 17m -----					
001900	-16	0.4	1838	~	CQ NK0V EN14
001900	6	0.1	1149	~	CQ BH1KTJ OM88
001900	6	-0.1	1399	~	CQ E25CRF OK02
001900	-8	-0.0	795	~	W1OP NY7H -08
001900	-5	0.0	320	~	JF1IZA WE2M -16
001900	-16	-0.1	1904	~	CQ W7VOA FM18
001900	-3	-0.0	1000	~	KK4PH UA0QQJ PP03
001900	-14	0.1	384	~	AF4WR W2GLH -15
001900	-5	0.0	1336	~	LW1DZS NT7X CN88
001900	-14	0.0	2047	~	JH4ADK OX7AKT 73
001900	-21	0.2	1482	~	CQ VK4GP QG62
001900	-12	0.4	464	~	KE8VHN AD7FC RR73
001900	-18	0.0	1657	~	JR1TMI KE9SX 73
001900	-17	0.3	883	~	D2UY K4YYL EM84
001900	-6	-0.1	2100	~	D2UY YB4CHP OI18
001900	-6	0.0	2009	~	AC8MR W6YLZ -08
001900	-23	-0.2	1353	~	CQ KC2DMC FN21
001900	-18	0.0	1939	~	CQ KY4CU EM73
001900	-16	0.0	991	~	D2UY W1JN FN31
001900	-15	0.0	2100	~	YB5QZ N4HAC FM08
001900	-16	0.1	953	~	CQ DX K2ZED EN70

18.100 000 00:19:20 TX 15/45

17m Spt Menu Tx FT8 Report -13 S meter

DX Call DX Grid Tx 641 Hz Reserved Hound

OX7AKT GP47 Tx/Rx Split AutoTX

Az: 2 8651 km Rx 2047 Hz Wanted AutoSeq

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
001600	-16	0.1	2046	~	KM2G OX7AKT +11
001630	-16	0.1	2046	~	KM2G OX7AKT +11
001700	-13	0.0	2046	~	KM2G OX7AKT RR73
001715	Tx		2792	~	OX7AKT JH4ADK -13
001730	-13	0.0	2046	~	JA5MHD OX7AKT +21
001800	-13	0.0	2047	~	JA5MHD OX7AKT RR73
001815	Tx		641	~	OX7AKT JH4ADK -13
001830	-14	0.0	2046	~	JH4ADK OX7AKT R+06
001845	Tx		641	~	OX7AKT JH4ADK -13
001847	Tx		641	~	OX7AKT JH4ADK RR73
001900	-14	0.0	2047	~	JH4ADK OX7AKT 73
001915	Tx		641	~	OX7AKT JH4ADK -13

Enable Tx Halt Tx GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1

Log QSO Erase OX7AKT JH4ADK PM64 Tx 1

Hint SWL mode OX7AKT JH4ADK -13 Tx 2

AGCc Filter OX7AKT JH4ADK R-13 Tx 3

Decgde Clear DX OX7AKT JH4ADK RR73 Tx 4

OX7AKT JH4ADK 73 Tx 5

CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

Receiving FT8 Last Tx: OX7AKT JH4ADK -13 WD 6m 5/15 Logd 18.02.2023 FT8 7480

最後に、4U1UN UnitedNations HQです。私のログに載っている4U1UNは40mCWのみです。DXscapeで情報を得て即QSYしました。F/Hモードですが、先日の3Y0Jとは比べ物にならない位空いてましたので落ち着いて周波数を変えながら10回程呼んだところでコールバックがありました。目出度く、モードニュー、バンドニューをゲットできました。

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=-0.13 Lag=+0.3 and Active

002745	3	0.1	2101	~	4U1UN JS6RVS PM74
002745	-2	-0.5	1601	~	4U1UN JA2CEJ PM85
002745	-9	-0.6	1206	~	4U1UN JA4MEM PM75
002745	-3	-0.7	228	~	4U1UN JG1ULT PM95
002745	2	-0.6	2244	~	4U1UN HL4GAV PM35
002745	-3	-0.6	1696	~	4U1UN JA1GLM PM95
002745	-1	-0.6	518	~	4U1UN JA1VVX PM95
002745	-3	-0.5	1359	~	4U1UN JK3NSD PM74
002745	-5	-0.6	1141	~	4U1UN JA7MZW QN00
002745	-2	-0.7	304	~	4U1UN JA3OOK R-24
002745	-3	-0.4	2314	~	4U1UN JL2KEQ PM95
002745	3	-0.6	1953	~	4U1UN JE4FNC PM75
002745	-12	-0.5	603	~	4U1UN JH0EXA R-14
002745	-5	-0.6	988	~	4U1UN 7N3GWD PM95
002745	-6	-0.6	463	~	4U1UN JR7WXR QM09
002745	-3	-1.5	2037	~	4U1UN JA6QH Q PM53
002745	-8	-0.6	606	~	4U1UN JR4BCD PM54
002745	-19	-0.6	1350	~	4U1UN VE3VHB -13
002745	-5	-0.5	1903	~	4U1UN J1OUV PM95
----- 18.02.23 00:28:14 UTC ----- 17m -----					
002800	-14	-0.0	362	~	JH4ADK 4U1UN -15
002800	-14	-0.0	302	~	WB4RA 4U1UN -12
----- 18.02.23 00:28:44 UTC ----- 17m -----					
002830	-13	-0.1	302	~	WB4RA 4U1UN RR73
002830	-13	-0.1	302	~	JH4ADK 4U1UN -16
----- 18.02.23 00:30:14 UTC ----- 17m -----					
002830	-12	-0.0	362	~	JA0FMU 4U1UN -09
003000	-18	-0.0	303	~	JH4ADK 4U1UN RR73
003000	-18	-0.0	303	~	JA0FMU 4U1UN -10
003000	-17	-0.0	362	~	JA9CZE 4U1UN -07

18.095 000 00:30:21 TX 15/45

17m Spt Menu Tx FT8 Report -13 S meter

DX Call DX Grid Tx 810 Hz Reserved Hound

4U1 UN Tx/Rx Split AutoTX

Lookup Add Rx 362 Hz Wanted AutoSeq

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
002800	-14	-0.0	362	~	JH4ADK 4U1UN -15
002800	-14	-0.0	302	~	WB4RA 4U1UN -12
002815	Tx		362	~	4U1UN JH4ADK R-14
002830	-13	-0.1	302	~	WB4RA 4U1UN RR73
002830	-13	-0.1	302	~	JH4ADK 4U1UN -16
002830	-12	-0.0	362	~	JA0FMU 4U1UN -09
002845	Tx		763	~	4U1UN JH4ADK R-13
002915	Tx		671	~	4U1UN JH4ADK R-13
002945	Tx		671	~	4U1UN JH4ADK R-13
003000	-18	-0.0	303	~	JH4ADK 4U1UN RR73
003000	-18	-0.0	303	~	JA0FMU 4U1UN -10
003000	-17	-0.0	362	~	JA9CZE 4U1UN -07

Enable Tx Halt Tx GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1

Log QSO Erase 4U1 UN JH4ADK PM64 Tx 1

Hint SWL mode 4U1 UN JH4ADK -13 Tx 2

AGCc Filter 4U1 UN JH4ADK R-13 Tx 3

Decgde Clear DX 4U1 UN JH4ADK RR73 Tx 4

4U1 UN JH4ADK 73 Tx 5

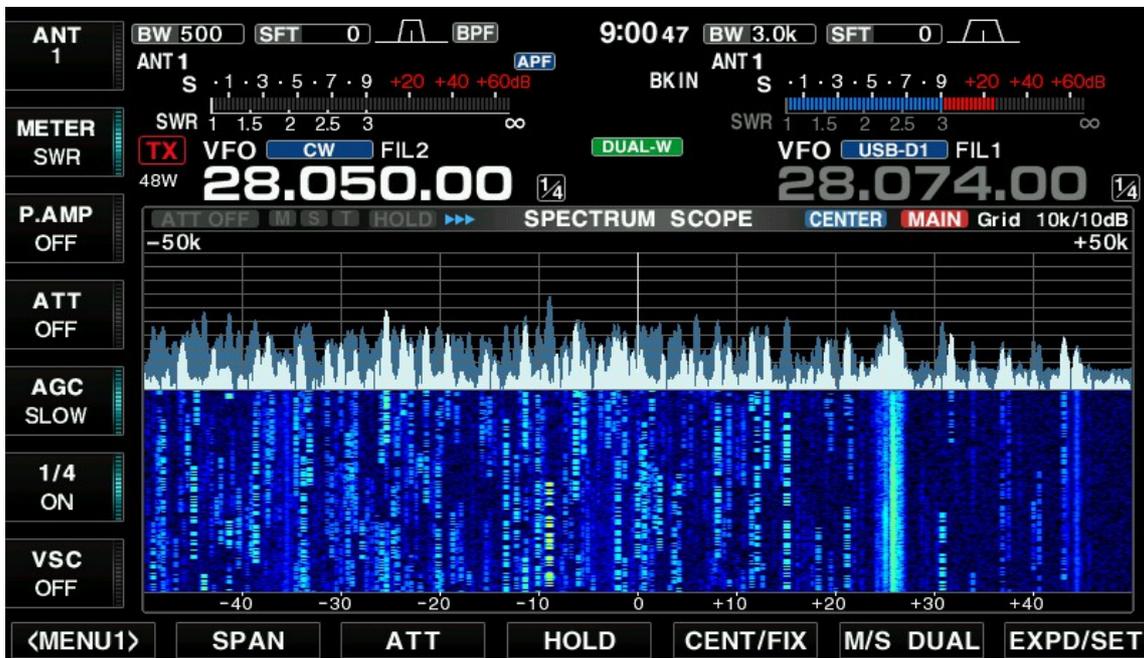
CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

Receiving FT8 Last Tx: 4U1UN JH4ADK R-13 WD 6m 6/15 Logd 18.02.2023 FT8 7481

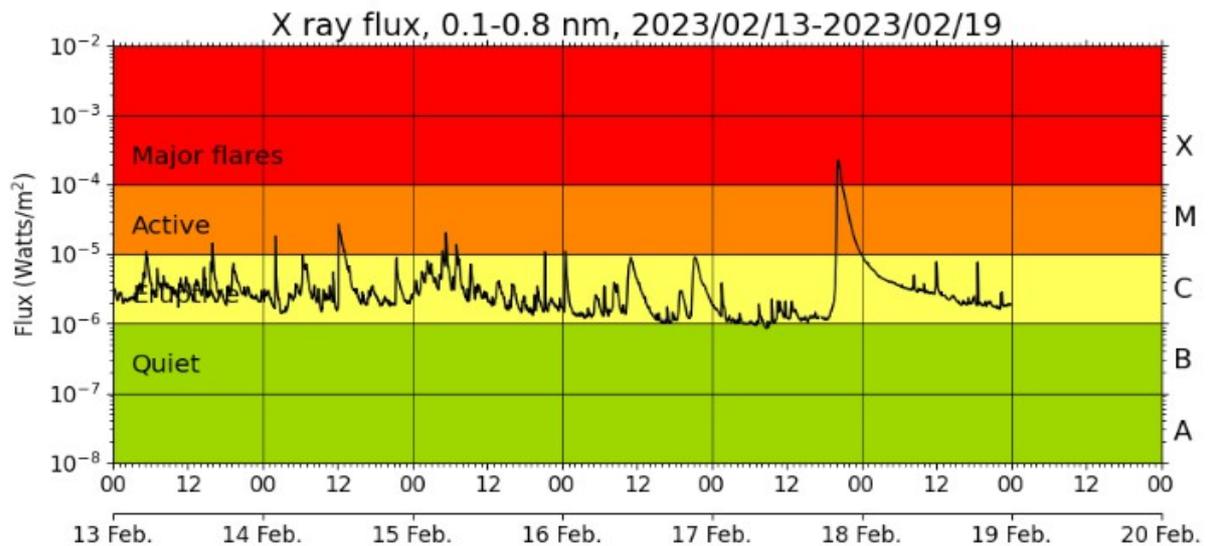
## 2月19日 10mバンドは大賑わい

昨夜から J8/AJ4YX を 10m で追いかけています。昨夜は 11 頃までワッチしていましたが、遂にデコードできませんでした。今朝も 28093kHz に出ていました。見えたり見えなかったりの状態だったので、呼びましたが QSO できませんした。

バンドスコープをみると、28090kHz あたりにも CW の信号が見えました。何のイベントかと思って調べたところ、ARRL International Contest です。IC-7851 のバンドスコープで 28050kHz±50kHz を表示させてみました。28000~28090kHz まで沢山の局がオンエアしています。ちょっと聞いてみたら、殆どが北米(USA, Canada)です。コンテストに参加してみるのも面白そうです。ひょっとしたら Oneday で 10mWAS が完成するかもしれません。しかし、今日は個人的にイベントがあるので踏みとどまりました。



コンディションが良いんだな・・・と実感したので NICT の宇宙天気予報をみてみました。昨日、Xクラスのフレアが発生したみたいで、その余韻を引いて活発な状況が続いています。昨日の朝、沢山のバンドニューがゲットできたのは、久々に発生したXクラスのフレアが関係しているのかもしれませんが。



## 2月20日 ブドウの剪定を開始したけど・・・

寒い日の後は雨だったりして、ブドウの剪定作業を見合わせていましたが、もう2月も下旬になってしまいました。おまけに、2月は28日までしかないので、そろそろ剪定作業を開始しないといけません。意を決してブドウ園で選定作業を開始して30分も経たない内に、近所の猟師のYさんがやってこられて、「猪が獲れたので、運搬・解体の手伝いをして欲しい」というのです。日頃からお世話になっているYさんの依頼なので、「今日は忙しいから駄目！」とは言えず、お手伝いすることになりました。



くくり罠で獲れたのは、60kg位の雌の猪でした。ぽっちゃりしていて、なかなかの美

形です。解体作業が終わったのは午後3時前でした。

それから、1時間程剪定作業をしましたが、風が強かったので挫けて家に戻り、山分けしていただいた猪肉の処理をしました。

## 2月21日 KP2B US Virgin Is. 12m & NA2AA CEO of ARRL 10m

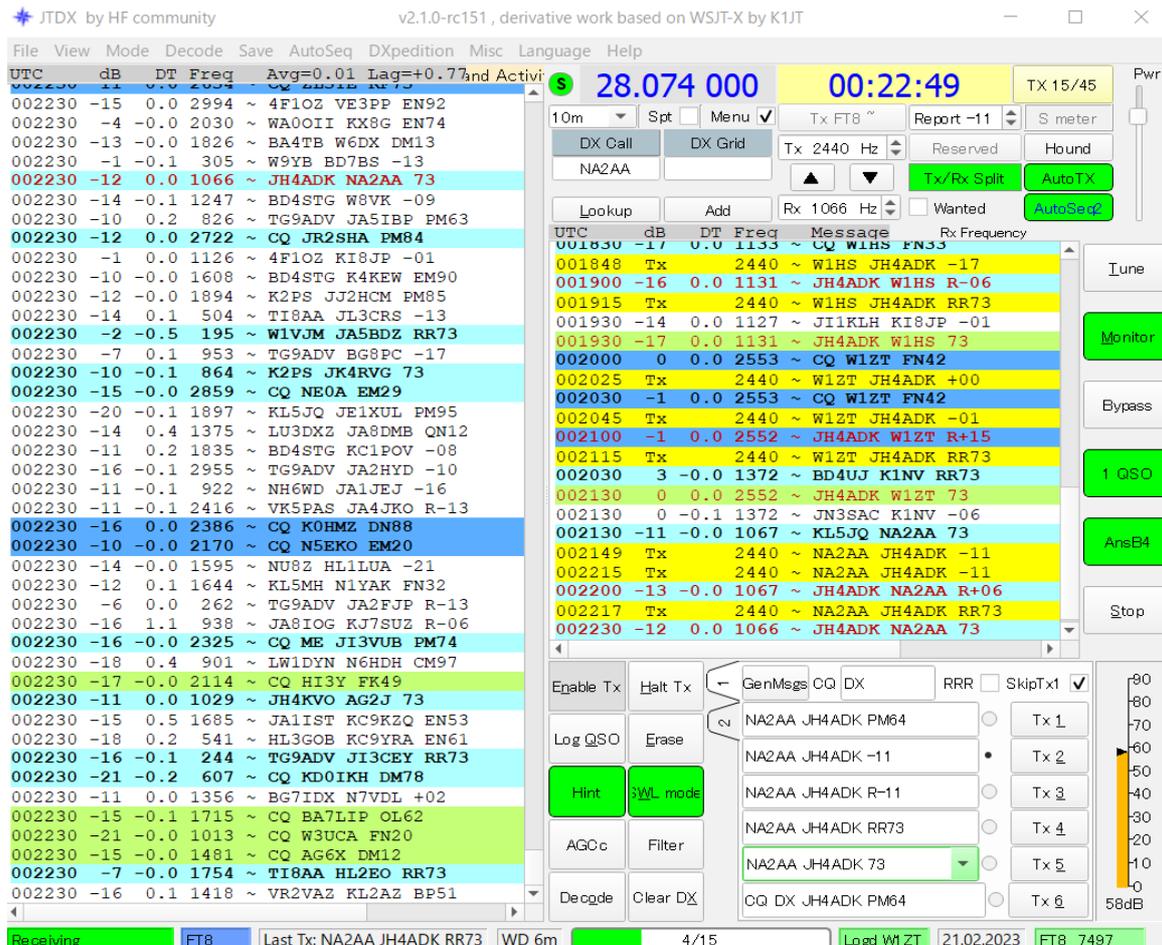
今朝目覚めると外は薄っすらと雪景色でした。天気予報では最高気温5度ということだったので、10時頃まで無線小屋で遊びました。主に10mと12mでFT8やFT4を交互に運用しました。

KP2Bは12mではバンドニューです。QSBが激しくて、デコード出来たり出来なかったりというコンディションでしたが、なんとかRR73を貰うことができて、バンドニューをゲットしました。

The screenshot displays the JTDX software interface. The main window shows a log of radio contacts with columns for UTC, dB, DT, Freq, Message, and Rx Frequency. The log is filtered for the 12m band. The interface includes various control panels for TX, RX, and logging. The TX panel shows the frequency 24.919 000 and the time 23:08:46. The RX panel shows the frequency 1221 Hz and the message 'KP2B JH4ADK RR73'. The interface also includes a 'Monitor' button and a '1 QSO' indicator.

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
230752	-8	-0.1	1151	NY7H WP3A R-06	
230752	3	-0.2	1498	JO1ALS K4CPO R-06	
230752	8	-0.1	1784	CQ HR5/F2JD	
230752	8	0.0	1935	W6FT W4UW RR73	
230752	-4	0.0	2108	WN7J N7PWZ DM33	
230752	13	0.0	2492	JO1ALS K4RNA -02	
230752	-5	-0.5	732	JO1ALS WB8UCD EL98	
230752	-7	-0.4	1270	CQ NN5SD DN84	
230752	-4	-0.2	1442	DS5TOS K7KTM DN26	
20.02.23	23:08:06	UTC			12m
230800	-7	0.2	578	CQ DS5TOS PM45	
230800	-10	0.1	2125	WP3A JR1BLX QM06	
230800	5	-0.4	2350	NY7H N7IW R+00	
230800	-8	0.1	2694	WN7J JM1EMX QM05	
20.02.23	23:08:13	UTC			12m
230807	-1	-0.2	437	KL7J JR2AMZ PM95	
230807	-2	-0.0	1001	N7IW NY7H RR73	
230807	-7	0.0	1150	NY7H WP3A R-06	
230807	-14	-0.2	1269	CQ NN5SD DN84	
230807	-3	-0.2	1442	DS5TOS K7KTM DN26	
230807	-1	-0.2	1498	JO1ALS K4CPO R-06	
230807	5	-0.1	1785	CQ HR5/F2JD	
230807	7	0.0	1935	CQ W4UW EM85	
230807	-6	0.0	2108	WN7J N7PWZ DM33	
230807	14	0.0	2491	JO1ALS K4RNA RR73	
230807	-17	-0.1	1221	JH4ADK KP2B R-12	
20.02.23	23:08:28	UTC			12m
230822	-7	-0.2	437	KL7J JR2AMZ PM95	
230822	2	-0.0	1000	KL7J NY7H +12	
230822	-8	0.0	1151	NY7H WP3A R-06	
230822	3	-0.2	1442	DS5TOS K7KTM DN26	
230822	10	-0.1	1786	CQ HR5/F2JD	
230822	4	0.1	1935	CQ W4UW EM85	
230822	16	0.0	2491	DS5TOS K4RNA -01	
230822	-12	-0.1	1220	JH4ADK KP2B RR73	
230822	-6	0.0	1000	N7IW N7PWZ DM33	
230822	-1	-0.2	1499	JO1ALS K4CPO R-06	
230822	-14	-0.2	1270	CQ NN5SD DN84	
20.02.23	23:08:43	UTC			12m
230837	-5	-0.2	439	KL7J JR2AMZ PM95	
230837	-3	-0.5	732	JO1ALS WB8UCD EL98	
230837	2	-0.0	1000	KL7J NY7H RR73	
230837	-13	-0.2	1270	CQ NN5SD DN84	
230837	7	-0.1	1785	CQ HR5/F2JD	
230837	-16	-0.0	2256	HR5/F2JD JH1FTL PM95	
230837	13	0.0	2491	DS5TOS K4RNA RR73	
230837	-7	0.0	1002	N7IW N7PWZ R-05	

10mで米国東海岸が良く開けていたので、遊んでいたところ NA2AA のコールサインを見つけました。彼は ARRL の CEO です。コールサインが特徴的なことと、2年前の QSO Today Ham Expo で ARRL の CEO としてオープニングスピーチをしていて、ARRL のことをエイ・アール・アール・エルではなく、エイ・ダボオアール・エルと言っていたことが記憶に残っています。ブレイクするような形で呼びかけましたが、直ぐにコールバックがありました。



## 2月22日 ZC4GR UK bases on Cypress 10m, FT8WW

### Crozet 10m

入浴後に PC を立ち上げて DXscape を見ると、10m に ZC4GR が出ているということで無線小屋に行きました。最近、暖かくなったこともあり、夕食後にも無線小屋に行って遊ぶことが多くなりました。朝と夕とでは交信できる地域が全く違うので、両方とも重要

です。

ZC4GRの信号は弱くて、見えたり見えなかったりという状態でしたが、暫くすると続けてデコードできるようになったので、コールを開始しました。暫く呼んでやっとコールバックがありましたが、RR73が確認できませんでした。QSO 不成立かと思いましたが、QRZ.comを見るとオンラインログが用意されていて、そこに自分のコールサインがあったので、ログに記入されていることが確認できました。ちょっとインチキ臭いかもしれませんが、バンドニューをゲットです。次回、彼を呼んだ時には、QSO 済みとして相手にしてもらえないかもしれないので、こうやって確認できる手段があることは私にとっては助かります。

The screenshot shows the JTDX software interface. The top part displays a log of QSOs with columns for UTC, dB, DT, Freq, Avg, Lag, and Band. The middle part shows a list of received messages with columns for UTC, dB, DT, Freq, Message, and Rx Frequency. The bottom part shows the software's controls, including a frequency display (28.097 000), a time display (08:57:23), and various buttons like 'Monitor', 'Bypass', '1 QSO', 'AnsB4', and 'Stop'.

My last 10 QSO							
CALL	DX	DXCC	DATE	BAND	MODE	RSTr	RSTs
ZC4GR	JH4ADK	●	2023-02-21 08:55	10m	FT8	-19	-12
ZC4GR	JA5DNJ	●	2023-02-21 08:54	10m	FT8	-20	-10
ZC4GR	DG5AAG	●	2023-02-21 08:54	10m	FT8	-04	-04
ZC4GR	JR7GBL	●	2023-02-21 08:53	10m	FT8	-10	-03
ZC4GR	CT7BIZ	●	2023-02-21 08:53	10m	FT8	-13	+12
ZC4GR	JN7FAH	●	2023-02-21 08:52	10m	FT8	-05	-08
ZC4GR	JA7LGE	●	2023-02-21 08:52	10m	FT8	-18	-14
ZC4GR	7M4HOA	●	2023-02-21 08:51	10m	FT8	-16	-09
ZC4GR	BD7BM	●	2023-02-21 08:51	10m	FT8	-13	-08
ZC4GR	JA1RTX	●	2023-02-21 08:50	10m	FT8	-11	+09

次は、3C3CAが12mに出ているというので、QSYしましたが、これも信号が弱くて見えたり見えなかったりでした。QSBがあって偶にデコードできることがあるので、暫く待っていました。その間に、DXliteを見てみるとFT8WWが10mにオンエアするとF6EXVがスポットしました。QSYしようかどうか迷いましたが、10mのFT8WWは初めてなので、物凄いパイルになっていました。3C3CAもFT8WWもバンドニューという点では同じなので、先ずは3C3CAの方を片付けようと思って12mに留まりました。呼んでいる内にコールバックがあったように見えましたがJTDXが出す幻っぽいレポートです。勿論RR73はありませんでした。3C3CAは毎日Clublogを更新しているので、今朝確認してみましたが、やはり駄目でした。

The screenshot shows the JTDX software interface. The main window displays a log of radio communications. The log is organized into columns: UTC, dB, DT, Freq, Message, and Rx Frequency. The log shows several messages from 3C3CA and other stations like M0IOY and CQ DX. The interface also includes a control panel on the right with buttons for TX, Monitor, and QSO. The status bar at the bottom shows 'Receiving FT8', 'Last Tx: 3C3CA JH4ADK RR73', 'WD 6m', '10/15', 'Logd', '21.02.2023', 'FT8 7505'.

3C3CAがフェードアウトしたので、10mのFT8WWを呼びにQSYしました。MSHVでしたので、オンフレでコールする局も多く、その方が返って来る率が高いなあ・・・と思いつつも、ダブル（被る）可能性も高いので、3回に1回の割で送信するのを止めて空いている周波数を見つけて、そこで呼ぶようにしていたら、なんとかコールバックがあり

ました。10mでレアなバンドニューをゲットできました。FT8WWとは17mバンドでも是非QSOしたいものです。

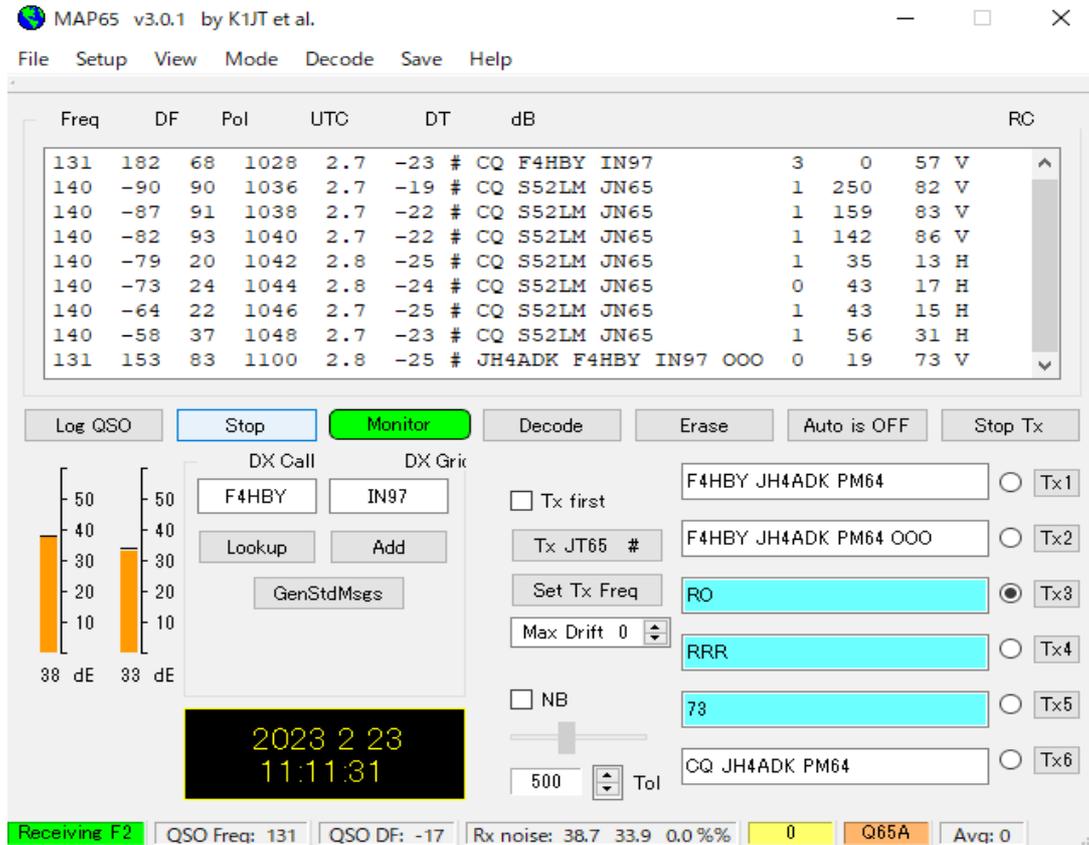
このブログを書いている時点でClublogをチェックしたところ、Last QSO in database: 2023-02-21 04:32:01となっていて、QSOはフォンファーム出来ていません。しかし、Twitterを確認したところ、First trials FT8WW 28095(20時間前)と書かれていたので、パイレーツではなかった模様です

The screenshot shows the JTDX software interface. The main window displays a list of received signals with columns for UTC, dB, DT, Freq, and Message. A log window on the right shows a list of messages, including 'FT8WW JH4ADK RR73' and 'JA5MHD FT8WW RR73'. The interface also shows various controls like 'Tx 1444 Hz', 'Report -7', and 'S meter'.

## 2月23日 MAP65でEME

今夜は2月最後のDGRDが-2dB以上の日でした。一昨日が新月だったので、夕方、西の空に月が見える頃にはヨーロッパは朝方です。そのせいなのか昨日も一昨日もチャットに出てきてCQを出す局が少なく、やっと今日は2局のCQを捕らえることができました。MAP65の操作に慣れていないため、F4HBYがCQを出していた144.131MHzでS52LMを呼んでしまったので、S52LMからは応答はなく、F4HBYには「何でS52LMを呼んでるの?」と言われる始末です。チャットで御免なさいと言った後、131kHzでF4HBYを呼んだところ、応答(ooo)が返ってきましたが、QSBのせいなのかファラデーの悪戯なの

か後が続かず、QSO 成立には至りませんでした。ほろ苦い MAP65 での送信も含めたオペレーションデビューでした。



## 2月24日 やつとこさの9U4WX Burundi 10m

もう何日も見張りをされていて、やっと10mで9U4WXとQSOできました。昨日も一昨日もEMEの傍らでワッチしていましたが、デコードできないのです。出来てもふわっと信号が浮いた一瞬だけなので、呼んでも後が続きませんでした。今日も午後3時頃からずっとワッチを続けていました。

途切れ途切れでしたが、デコードできたので呼んだところ、ギリギリセーフのレベルでQSO成立まで辿り着くことができました。RもRR73も-25dBです。普通ではデコードしてくれない信号レベルです。ひょっとしてJTDXの創り出した幻かも?!とあって、オンラインログで確認したところOKでした。ホントにやつとこさでバンドニューをゲットできたので、嬉しさもひとしおです。

JTDX by HF community v2.1.0-rc151, derivative work based on WSJT-X by K1JT

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=0.09 Lag=+0.9 Sand Activ

28.094 000 07:47:50 TX 15/45

10m Spt Menu Tx FT8 Report -25 S meter

DX Call DX Grid Tx 2184 Hz Reserved Hound

9U4WX Tx/Rx Split AutoTX

Lookup Add Rx 1263 Hz Wanted AutoSeq

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
074245	-15	-0.2	2703	~ 9U4WX UA6AKW LN05	
074245	-12	-0.2	382	~ 9U4WX JF3LGC -20	
----- 24.02.23 07:43:29 UTC ----- 10m -----					
074315	4	0.3	1083	~ 9U4WX JA4FJL PM74	
074315	-5	0.3	1832	~ 9U4WX RL9LR RR73	
074315	-15	-0.2	2702	~ 9U4WX UA6AKW LN05	
074315	0	-0.1	444	~ 9U4WX JR3XMG PM74	
074315	1	-0.1	917	~ 9U4WX JA5ALE PM74	
074315	-5	0.2	499	~ 9U4WX JA3DAZ PM74	
074315	-14	-0.1	382	~ 9U4WX JF3LGC -20	
----- 24.02.23 07:43:59 UTC ----- 10m -----					
074345	0	-0.1	443	~ 9U4WX JR3XMG PM74	
074345	-13	-0.2	1442	~ 9U4WX UA6AKW R-12	
074345	0	-0.0	917	~ 9U4WX JA5ALE PM74	
074345	-5	0.2	499	~ 9U4WX JA3DAZ PM74	
074345	5	0.3	1083	~ 9U4WX JA4FJL PM74	
----- 24.02.23 07:44:29 UTC ----- 10m -----					
074415	5	0.3	1083	~ 9U4WX JA4FJL PM74	
074415	-4	0.2	499	~ 9U4WX JA3DAZ PM74	
074415	-3	-0.1	917	~ 9U4WX JA5ALE R-24	
----- 24.02.23 07:44:59 UTC ----- 10m -----					
074445	-6	0.2	499	~ 9U4WX JA3DAZ PM74	
074445	-1	-0.0	917	~ 9U4WX JA5ALE R-24	
----- 24.02.23 07:45:29 UTC ----- 10m -----					
074515	-6	0.2	499	~ 9U4WX JA3DAZ PM74	
074515	-1	-0.1	444	~ 9U4WX JR3XMG PM74	
074515	5	0.3	1083	~ 9U4WX JA4FJL PM74	
----- 24.02.23 07:45:59 UTC ----- 10m -----					
074545	-2	-0.1	444	~ 9U4WX JR3XMG PM74	
074545	-4	0.2	499	~ 9U4WX JA3DAZ PM74	
074545	5	0.3	1083	~ 9U4WX JA4FJL R-14	
----- 24.02.23 07:46:14 UTC ----- 10m -----					
074600	-21	-0.8	1263	~ JA4FJL 9U4WX RR73	
----- 24.02.23 07:47:14 UTC ----- 10m -----					
074700	-25	-0.8	1263	~ JH4ADK 9U4WX R-05	
----- 24.02.23 07:47:44 UTC ----- 10m -----					
074730	-25	-0.8	1263	~ JH4ADK 9U4WX RR73	

Enable Tx Halt Tx GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1

Log QSO Erase 9U4WX JH4ADK PM64 Tx 1

9U4WX JH4ADK -25 Tx 2

9U4WX JH4ADK R-25 Tx 3

9U4WX JH4ADK RR73 Tx 4

9U4WX JH4ADK 73 Tx 5

CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

Decode Clear DX

Receiving FT8 Last Tx: 9U4WX JH4ADK RR73 WD 6m 5/15 Logd 24.02.2023 FT8 7542

	2	6	10	12	15	17	20	30	40	60	80	160
CW												
PH												
RTTY												
DIG			●						●			

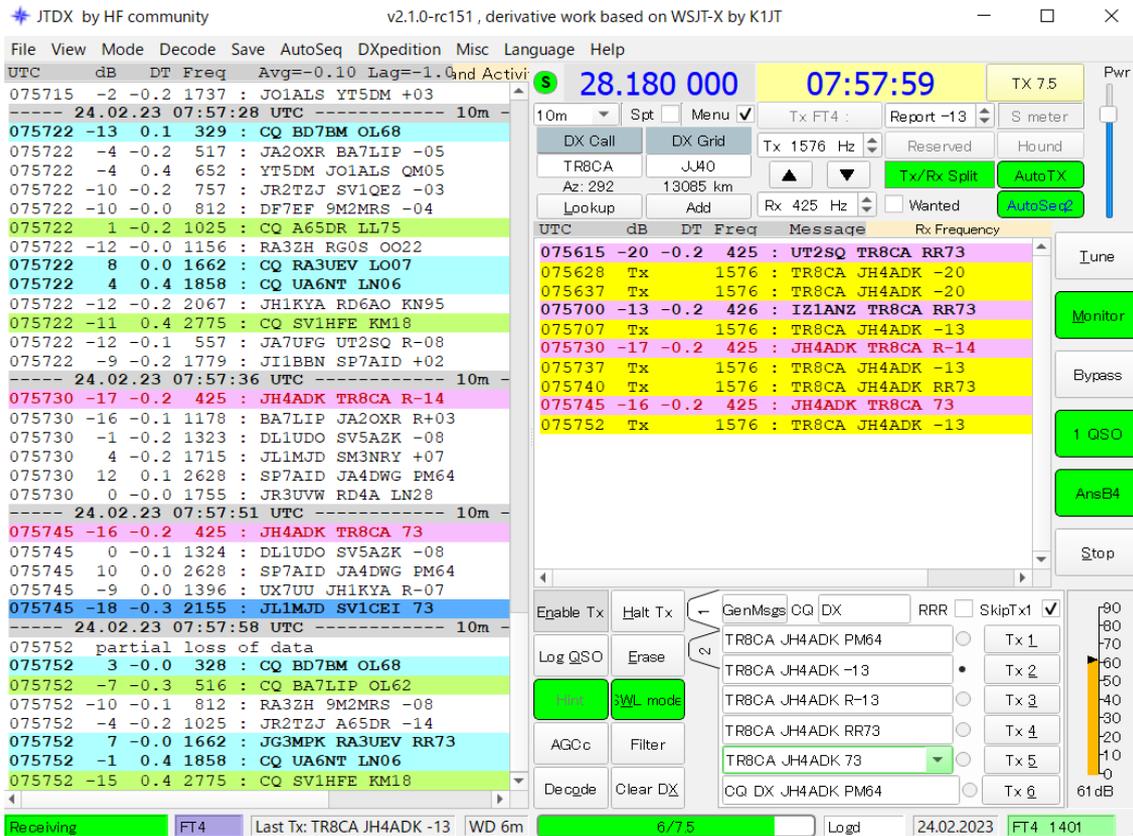
Your QSOs						
DX	DATE	BAND	MODE	RSTr	RSTs	
JH4ADK	2023-02-24 ***	10M	FT8	-21	-05	<a href="#">QQRS</a>
JH4ADK	2023-02-04 ***	40M	FT8	-19	-02	<a href="#">QQRS</a>

2 QSOs found.

QSOできた後で、WideGraphを見ると、4スロットで運用しているようですが、4つ見えることは稀です。多分、100W若しくは50W出力なのに4つにパワーを分散しているので、余計に受信しにくいのだらうと思います。

にも拘わらず、他のJA局はちゃんとQSOできているので、私のアンテナが余程悪いのだらうと良からめ詮索をしてしまいます。何しろ、今の28MHz用のアンテナは30年位前にQSYしてもらったナガラの11エレで、手書きの取説です。おまけに山の上から8D-2Vで100m近く引っ張っているので、損失が堪えているんだらうな・・・そろそろ同軸だけでも更新した方が良さそうだ・・・とかなんとか思っていました。そこに

28180kHz(FT4)に TR8CA が出ているというので、QSY して呼んでみました。FT4 としては弱い信号で見え隠れしていましたが、二三回呼んだだけで簡単に QSO できてしまいました。こちらはバンドニューではありませんが、10m のデジタルモードではニューです。



## 2月25日 ブドウの剪定作業完了

ブドウの剪定作業を今週の月曜日から始めていました。曇りの日が多くて、寒くて辛い作業でした。しかし、今日で作業を完了しました。ブドウは売り物ですが、その他の果樹であるイチジク、キウイフルーツ、桜桃、モモなどの剪定も既に終わっていて、剪定作業は完了しました。



そんな中で、ブドウの剪定を 19/20 終えて残り 5%というところで、電動剪定鋏が動作しなくなりました。仕方がないので、残りの 5%は従来使っていた普通の剪定鋏で作業しました。ですが、やはり従来式の剪定鋏は何しろ握力が必要なので手が疲れました。その点、電動剪定鋏はトリガーを引くだけなので、握力は不要です。ただし、電池の重み加わるので重いモノを上げ下げするので多少腕力が必要です。それにしても、楽なことを一度覚えたら後戻りはできません。来年のために、壊れて修理不能であれば代替品を手配する必要があります。購入してから 3 年目なので、刃先なども多少傷んでいます。

家に戻って、取扱説明書を見ながら刃先を外してみました。分解していると、トリガーの部分にゴミが引っ掛かっていたのか、トリガーが動くようになり、電源を ON してみると、ちゃんと動作するようになりました。新品を買わなくても良さそうです。傷んでいる刃先だけでも注文できそうなので、注文して来年に備えたいと思います。



## 2月26日 草刈用に登山靴

急傾斜地の草刈りをする時には、足回りをしっかりと固めておきたいので、軽めの登山靴を購入しました。ゴム長靴で急傾斜地の草刈りをしていて、足の骨を骨折してしまった経験から出した結論です。

mont-bellのアルパインクルーザー 800 BOA という品物です。シマノの鮎用シューズに採用されているBOAシステムにより、靴紐よりも簡単に着脱できるのがメリットです。



## 2月27日 モモの摘蕾・ブドウの剪定屑の片づけ

今日は春らしい良い天気でした。こんな日はインドアに籠っているよりもアウトドアの方が気持ち良く過ごすことができます。モモの摘蕾をしたり、ブドウの剪定屑を拾い集めるなどの作業をしました。



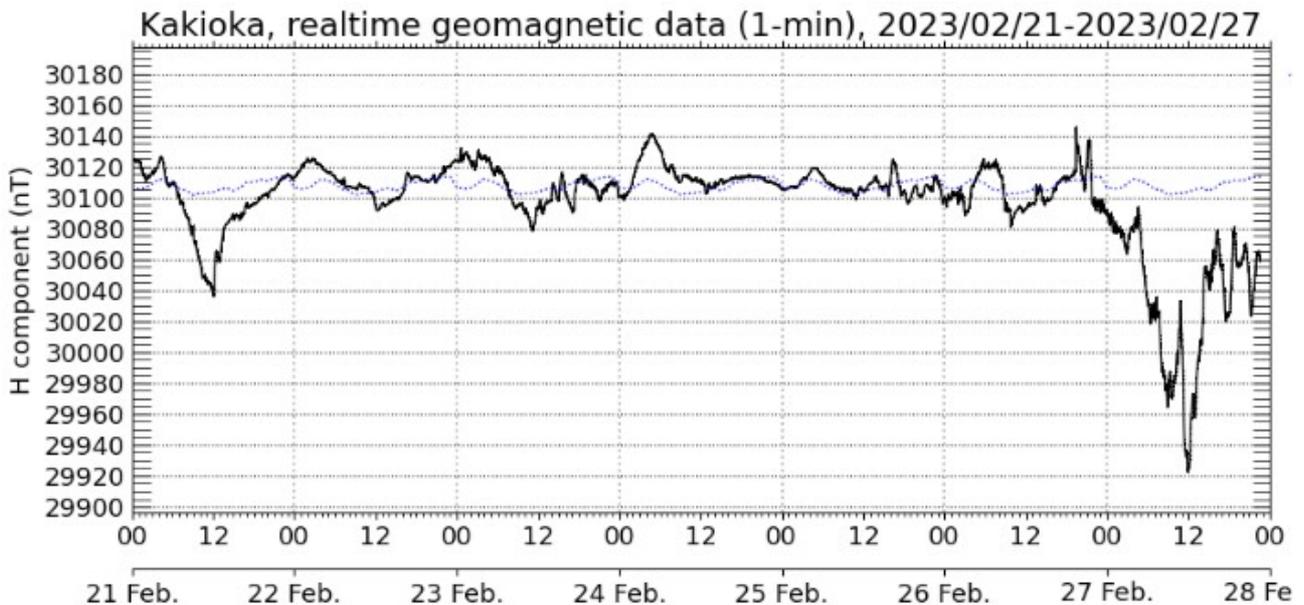
## 2月28日 3B7M Saint Brandon Is. & 地磁気嵐

チェコのチームによるインド洋の Saint Brandon Is.への DX ペディションが2月23日頃から運用開始されています。初めの内は、ヨーロッパのパイルがひどかったので、呼ぶのは控えていました。それに、80m~10mはコンファーム済みです。6mはバンドニューですし、こここのところインド洋方面(3B8/3B9/FR)が夕方6mで入感しているの

で、大いに期待しています。

今朝、7時前に無線小屋にやってくると、3B7Mが40mと30mのCWに出ているというので、呼んでみたところ直ぐにQSOできました。9U5Rが20mのFT4に出ているというので、QSYしてコール開始しましたが、周期の長いQSBがあって、見え隠れしていました。暫く呼ぶのを止めていたところ急にコールバックがあり慌てて応答しました。3回も4回も別の局を呼ぶのを見ていましたが、応答がないのでQSYしたとか・・・ということなんでしょうねえ。MSHVを運用したことはありませんが、応答する相手局をキュー（待ち行列）に貯め込んで順次処理するという事らしいので、スロット数が少ないと遅延が生じるのでしょうか？

今朝は24/28MHzなどのハイバンドのコンディションが悪いようです。FT8の国際QRGをワッチしてみるとバンドがシーンとしています。NICTの宇宙天気予報を見ると、地磁気嵐が起きているとのこと。地磁気嵐が起きると電離層が擾乱するという因果関係があるようです。



そんな中、DXscapeに3B7Mが14090kHzにF/Hモードで出ているというので、アンテナを回してワッチしてみたところ、3B7Mの時計が1.8秒も進んでいたのので、急遽時計を相手に合わせてコールしたところ、一発で応答がありました。FT8では初QSOです。

File View Mode Decode Save AutoSeq DXpedition Misc Language Help

UTC dB DT Freq Avg=0.09 Lag=+0.69st audio 2 **\$ 14.090 000** **22:47:51** TX 15/45 Pwr

----- 27.02.23 22:45:44 UTC ----- 20m -----

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
224530	-13	1.8	583	~ JG1SYK 3B7M RR73	
224530	-13	1.8	583	~ SP9WZO 3B7M +06	
224530	-12	1.8	463	~ JR6YAA 3B7M -03	
224530	-12	1.8	403	~ JA0WIU 3B7M +15	
224530	-11	1.8	522	~ JH1EDD 3B7M RR73	
224530	-11	1.8	522	~ KM4NS 3B7M -04	
-----	-----	-----	-----	-----	-----
27.02.23	22:46:14	UTC	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
224600	-14	-0.0	523	~ KM4NS 3B7M RR73	
224600	-14	-0.0	523	~ JP3IGU 3B7M +08	
224600	-14	-0.0	463	~ JR6YAA 3B7M RR73	
224600	-14	-0.0	463	~ JH5PXJ 3B7M +16	
224600	-13	-0.0	403	~ JA0WIU 3B7M +15	
224600	-15	0.0	583	~ SP9WZO 3B7M +06	
224600	-15	0.0	642	~ JH6RRI 3B7M +06	
-----	-----	-----	-----	-----	-----
27.02.23	22:46:44	UTC	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
224630	-16	-0.0	643	~ K4JKB 3B7M R+02	
224630	-15	-0.0	403	~ JA0WIU 3B7M +15	
224630	-20	-0.0	463	~ JH4ADK 3B7M -08	
-----	-----	-----	-----	-----	-----
27.02.23	22:47:14	UTC	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
224700	-15	0.0	463	~ JH5PXJ 3B7M RR73	
224700	-15	0.0	463	~ JH5PXJ 3B7M +12	
224700	-13	0.0	523	~ JP3IGU 3B7M RR73	
224700	-13	0.0	523	~ K4MVM 3B7M +00	
224700	-15	0.0	583	~ K4JKB 3B7M RR73	
224700	-15	0.0	583	~ W8RLG 3B7M +00	
224700	-14	0.0	403	~ JH6RRI 3B7M RR73	
224700	-14	0.0	403	~ WB4YDM 3B7M -10	
-----	-----	-----	-----	-----	-----
27.02.23	22:47:44	UTC	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
224730	-15	-0.0	463	~ K2TWI 3B7M +13	
224730	-16	-0.0	523	~ K4MVM 3B7M +00	
224730	-15	-0.0	643	~ JH4ADK 3B7M RR73	
224730	-15	-0.0	643	~ JL1VAL 3B7M +08	
224730	-15	-0.0	403	~ WB4YDM 3B7M -10	
224730	-19	-0.0	584	~ W8RLG 3B7M +01	

20m Spt Menu Tx FT8 ~ Report -20 S meter

DX Call 3B7M DX Grid Tx 268 Hz Reserved Hound

Lookup Add Rx 584 Hz Tx/Rx Split AutoTX

Wanted AutoSeq

UTC dB DT Freq Message Rx Frequency

UTC	dB	DT	Freq	Message	Rx Frequency
224645	Tx		463	~ 3B7M JH4ADK R-20	
224700	-15	0.0	463	~ JH5PXJ 3B7M RR73	
224700	-15	0.0	463	~ K2TWI 3B7M +12	
224700	-13	0.0	523	~ JP3IGU 3B7M RR73	
224700	-13	0.0	523	~ K4MVM 3B7M +00	
224700	-15	0.0	583	~ K4JKB 3B7M RR73	
224700	-15	0.0	583	~ W8RLG 3B7M +00	
224700	-14	0.0	403	~ JH6RRI 3B7M RR73	
224700	-14	0.0	403	~ WB4YDM 3B7M -10	
224715	Tx		920	~ 3B7M JH4ADK R-20	
224730	-15	-0.0	463	~ K2TWI 3B7M +13	
224730	-16	-0.0	523	~ K4MVM 3B7M +00	
224730	-15	-0.0	643	~ JH4ADK 3B7M RR73	
224730	-15	-0.0	643	~ JL1VAL 3B7M +08	
224730	-15	-0.0	403	~ WB4YDM 3B7M -10	
224730	-19	-0.0	584	~ W8RLG 3B7M +01	

I Tune Monitor Bypass 1 QSO AnsB4 Stop

Enable Tx Halt Tx GenMsgs CQ DX RRR SkipTx1

Log QSO Erase 3B7M JH4ADK PM64 Tx 1

Hint SWL mode 3B7M JH4ADK -20 Tx 2

AGCc Filter 3B7M JH4ADK R-20 Tx 3

Decode Clear DX 3B7M JH4ADK RR73 Tx 4

3B7M JH4ADK 73 Tx 5

CQ DX JH4ADK PM64 Tx 6

90 80 70 60 50 40 30 20 10 0 57dB

Receiving FT8 Last Tx: 3B7M JH4ADK R-20 WD 6m 6/15 Logd 27.02.2023 FT8 7547